

会 告 目 次

研究発表会開催通知

第 91 回 データベースシステム研究会	2
第 28 回 情報学基礎研究会	3
第 88 回 ソフトウェア工学研究会	4
第 45 回 ヒューマンインタフェース研究会	} 合同
第 8 回 情報メディア研究会	
第 58 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	6
第 85 回 人工知能研究会	7
第 80 回 コンピュータビジョン研究会	8
第 92 回 自然言語処理研究会	8
第 30 回 アルゴリズム研究会	9
第 24 回 コンピュータと教育研究会	10
第 16 回 人文科学とコンピュータ研究会	10
情報処理学会第 46 回全国大会実施要領	12
本会協賛等の行事案内	16
学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)	16
「第 4 回 コンピュータシステムシンポジウム」開催について	19
論文誌特集号「画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92」論文募集	20
「ゴミ集め (ガーベジコレクション) の基礎と動向チュートリアル」開催について	22
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」開催について	24
「学会誌特集 세미나: ソフトウェアマネジメント」開催について	26
「第 34 回プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	28
「コンピューティングの新しい潮流」講習会のご案内	31
大学等における情報システム学の教育の実態に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	32
一般情報処理教育の実態に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	33
「論文誌」への英文論文掲載と「欧文誌 “JIP”」の統合について	34
情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集号への論文投稿のおすすめ	34
海外からの送金方法について	35
第 23 回 画像工学コンファレンス プログラム	36
第 9 回 色彩工学コンファレンス プログラム	40
CALL FOR PAPERS—7th ACM International Conference on Supercomputing	42
CALL FOR PAPERS—The First Pacific Conference on Computer Graphics and Applications	43
情報処理学会研究報告, 全国大会講演論文集, シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱いについて	44
支部だより	45
会議案内	50
教官募集	51
雑 報	53
編 集 室	54

研究発表会開催通知

(平成4年10月15日～11月30日)

研究会	日時		会場	備考
数値解析	10月15日(木)	10:00～14:40	徳島大	前号参照
情報システム	10月20日(火)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ	10月22日(木) 10月23日(金)	10:00～17:00 10:00～17:00	九大	同上
設計自動化	10月22日(木) 10月23日(金)	13:00～17:20 10:00～16:00	東北大	同上
グラフィクスとCAD	10月23日(金)	13:10～16:40	東京電機大	同上
プログラミング —言語・基礎・実践—	10月30日(金)	10:00～17:00	機械振興会館	同上
データベースシステム	11月5日(木)	9:30～18:00	千里国際情報事業財団	下記参照
情報学基礎	11月9日(月)	10:00～17:00	阪大	同上
ソフトウェア工学	11月10日(火)	9:00～17:15	慶大(日吉)	同上
ヒューマンインタフェース} 情報メディア}合同*	11月12日(木) 11月13日(金)	11:00～15:50 9:00～17:00	国立民族学博物館	同上
マルチメディア通信と分散処理	11月19日(木) 11月20日(金)	9:00～17:00 9:00～17:00	琉球大	同上
人工知能	11月19日(木) 11月20日(金)	13:00～17:15 9:30～16:00	同上	同上
コンピュータビジョン	11月19日(木) 11月20日(金)	未定 10:30～17:40	京大	同上
自然言語処理	11月19日(木) 11月20日(金)	13:30～17:00 10:00～15:50	京大会館	同上
アルゴリズム	11月20日(金)	9:30～15:20	広島大	同上
コンピュータと教育	11月20日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
人文科学とコンピュータ	11月27日(金)	10:30～17:00	中京大	同上

* 音楽情報科学研究グループも合同開催です。

◆ 第91回 データベースシステム研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 増永良文, 幹事: 北川博之, 田中克己, 鶴岡邦敏)

日時 平成4年11月5日(木)* 9:30～18:00

会場 千里国際情報事業財団 セミナールーム

〔大阪市北区角田町 8-47 阪急グランドビル15階, JR: 大阪, または阪急: 梅田下車, 徒歩3分. Tel. 06(373)5319〕

議題 特集: マルチメディアオブジェクトモデルと分散オブジェクト管理*

—9:30～12:00—

(1) オブジェクト指向データベースプログラミング言語 DOTPL の動的 OID とメソッド継承

劉 渤江 (阪大), 塚本昌彦 (シャープ), 西尾章治郎, 宮原秀夫 (阪大)

〔概要〕 項表現 DOT をオブジェクト指向データベースプログラミング言語として拡張した DOTPL を提案する。

- (2) インスタンス間継承に基づくオブジェクトモデルとその物理的記憶構造 奥田太郎, 田中克己 (神戸大)
 [概要] インスタンス間の集合的包含関連やレイヤ間のoidの等価関連に基づく継承機構とその記憶構造について。
 (3) オブジェクト指向データベースにおけるスキーマバージョンの実現法について

田島敬史, 加藤和彦, 益田隆司 (東大)

[概要] 三階層オブジェクトと双方向継承機構を用いたスキーマバージョンの実現について述べる。

- (4) 複合オブジェクトを表すセマンティック-id方式

龍 忠光 (富士通研), 豊田雅信, 足立武史 (富士通ネットワークエンジニアリング)

[概要] クラス構造を, クラス群とインスタンス部に分けて複合オブジェクトを簡単な記号の組で表現した。

- (5) 「出世魚」における WAKASHI の実装と評価 白 光一, 寺本圭一, 天野浩文, 牧之内顕文 (九大)

[概要] 一元化記憶方式による記憶管理層 WAKASHI をマルチメディア対応のベンチマークテストで評価した。

—13:00~18:00—

- (6) HyTime: 文書の拡張としてのハイパーメディア記述言語

今郷 詔 (リコー)

[概要] ISO で国際標準となったハイパーメディアの論理構造を記述する。

- (7) ハイパーテキストにおける検索と視点の形式的なモデル化

渡辺隆一, 箕原辰夫, 所真理雄 (慶大)

[概要] ハイパーテキスト上で検索機構を定義し, 航行の概念を取り入れた動的な視点機構を形式的に定義した。

- (8) 地図メディアのためのアドホック質問のオブジェクト化と視覚化

有川正俊 (九大)

[概要] 多目的利用の地理データベースと応用依存の地図との関連をアドホック質問で記述する枠組を述べる。

- (9) 分散オブジェクト指向シェル HyperShell での共有オブジェクト管理方式

岩崎未知, 岡本道子, 新 淳, 川越恭二 (日電)

[概要] 複数ユーザによるオブジェクト共有の方式と, それを用いた電子メールシステムについて説明する。

- (10) マルチメディアオブジェクトに対する不完全質問とその問い合わせ処理

田淵仁浩, 村岡洋一 (早大)

[概要] 問い合わせ中の誤りを許容できる不完全質問処理のマルチメディアデータに対する有効性を論じる。

- (11) マルチメディアデータベースにおける同時実行制御手法の考察

坂上雄一, 宮尾淳一 (広島大)

[概要] データ特性を考慮したトランザクション分類を行い, それに対応した同時実行制御手法の比較評価を行う。

- (12) 分散オブジェクト環境と Tool Talk (仮題)

和田健一郎 (日本サン・マイクロシステムズ)

[概要] 分散オブジェクト環境 DOE と Tool Talk の概要について述べる。

- (13) Capturing Organizational Memory with Hypertext

Jeffrey Conklin (米 Corporate Memory Systems)

[概要] ハイパーテキスト技術を用いた記憶の構成について述べる。

*当初の案内にありました開催日, 特集テーマは変更されています。

◆ 第28回 情報学基礎研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成4年11月9日(月) 10:00~17:00

会 場 大阪大学 基礎工学部 情報工学科 (新棟1階)

[豊中市待兼山町 1-1, 阪急: 石橋下車, 徒歩 20分, または地下鉄: 千里中央下車, 阪急バス: (大阪空港行) 阪大豊中学舎前下車すぐ. Tel. 06 (844) 1151 内 4849 (情報学科事務係)]

議 題 特集: 意味論とその応用

—10:00~12:00—

- (1) 招待講演: 代数的言語の意味論と代数的手法によるソフトウェア設計開発

谷口健一 (阪大)

[概要] 代数的言語を用いたソフトウェア設計開発手法とその現状について

- (2) 観点を考慮した連想機構の一モデル化

馬場口登 (阪大)

[概要] 観点により事例間の類似性が変化することに着目した連想機構のモデル化。

- (3) テキストの内容を表すワードマップ作成の試み

豊浦 潤, 有田英一 (三菱電機)

[概要] 語の連想関係を表すテプレートからテキストを縮約したマップの自動生成。

—13:00~17:00—

- (4) 招待講演: 自然言語における意味処理

長尾 真 (京大)

[概要] 意味処理技術の現状の問題点と今後の取組について。

- (5) 自然言語処理における意味解析と意味理解

池原 悟 (NTT)

[概要] 言語過程説の立場から, 意味処理を意味解析と意味理解に分け, 機械翻訳の例を紹介する。

- (6) 一般化弁別ネットワークを用いた日本語意味解析

奥村 学 (北陸先端科学技術大学院大), 秋葉友良, 田中穂積 (東工大)

- (概要) 一般化弁別ネットワーク形式に変換した格フレーム辞書を用いた解析手法,
(7) 情報の包摂関係の余代数モデル 向井国昭 (慶大)
- (概要) 素性構造の包摂関係とその決定問題を余代数に一般化する,
(8) スキーマ類推によるマルチメディアの意味構造補償 嶋田 茂 (日立)
- (概要) 既存 DB の意味スキーマと検索要求間のミスマッチを類推により補償する.

◆ 第 88 回 ソフトウェア工学研究会

(予定発表件数: 8 件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大時和仁)

日 時 平成 4 年 11 月 10 日 (火) 9:00~17:15

会 場 慶應義塾大学 (日吉キャンパス) 図書館 AV ホール

[横浜市港北区日吉 4-1-1, 東横線: 日吉下車, 徒歩 3 分. Tel. 045 (563) 1111]

議 題

- (1) ソフトウェア開発工程の定量的取扱い 河野善弥, Homayoun Far Behrouze (埼玉大)
[概要] 所謂ソフトウェアプロセスの合理的/定量的な取扱いを, 合理化/成熟過程を含めて述べる.
- (2) ソフトウェアプロセスアセスメント手法の評価 堀田勝美, 稲田 満, 浜畑 諠 (NTT)
[概要] カーネギーメロン大の SEI の手法を NTT 内プロジェクトに適用した結果と手法の問題点を述べる.
- (3) Which Paradigm Can Improve the Reliability of Next-Generation Measurement Software?

Satoshi Imai, Takahiro Yamaguchi (アドバンテスト仙台研)

Givargis A. Danialy (アドバンソフト研究所)

[概要] 手続き型とオブジェクト指向型パラダイムのソフトウェア信頼度を定式化して示す.

- (4) 動的詳細化が可能なプロセス記述の表記法とその開発現場への応用について 石若通利, 元治景朝 (さくらケーシーエス), 萩原剛志, 井上克郎 (阪大)
[概要] プロセス記述に動的詳細化機構を取り込み, プロジェクト管理への応用方法について述べる.
- (5) GUI を対象にしたリエンジニアリング方式 小泉昌紀, 中島 震 (日電)
[概要] GUI プログラムから画面レイアウト情報を復元する方式と試作ツールについて報告する.

*今回の研究会は電子情報通信学会(知能ソフトウェア工学研究会)との共催で開催されます。上記会告は9月8日現在の申込みによるもので、それ以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌10月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第 45 回 ヒューマンインタフェース研究会

◆ 第 8 回 情報メディア研究会

} 合同

(発表件数: 17 件)

HI (主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 廣瀬通孝)

IM (主査: 相磯秀夫, 幹事: 石塚英男, 上林憲行, 田中 譲, 中川 透)

日 時 平成 4 年 11 月 12 日 (木) 11:00~15:50

13 日 (金) 9:00~17:00

会 場 国立民族学博物館

[吹田市千里万博公園 10-1, JR (東海道本線), 阪急 (京都線): 茨木下車, 阪急・近鉄バス (エキスポランド方面): 日本庭園前 (記念公園東口) 下車, 徒歩 10 分, または阪急南茨木・千里中央よりモノレール: 万博記念公園前下車, 徒歩 10 分. Tel. 06 (876) 2151]

議 題

11 月 12 日 (木) —11:00~12:10—

● ユーザモデル

- (1) 官能の差異を考慮したユーザモデル・チューニング法 河辺和宏, 江澤義典 (関西大), 平嶋 宗, 豊田順一 (阪大)
[概要] 色彩空間での官能の差異を部分的に線形補間するユーザモデル・チューニング法の報告.
- (2) 対話支援におけるユーザの質問と行動 海老名毅, 伊藤 昭 (通信総研)
[概要] ユーザに計算機利用支援を行った時の, ユーザの行動と発話について検討する.

—13:10~15:50—

- (3) ネットワークプロクセミックス 野々垣且 (富士通)
[概要] ネットワークの上に成立するコミュニケーションも人間関係の距離 (プロクセミックス) の実現である.

● ハイパーメディア

- (4) Media Preview: マルチメディア情報を利用した番組企画/シナリオ作成支援システム構築例 中村 修, 清水 剛 (富士ゼロックス)

〔概要〕 異種情報を参照／構造化するためのインタフェースの概要、並びにその応用システムを説明する。

(5) 情報とインタフェースのデザイン 小川克彦 (NTT)

〔概要〕 インタフェース設計レビューを事例としたユーザタスク支援ツールの情報とインタフェース設計評価。

(6) 博物館来館者のための汎用型ハイパーメディアの製作

山田奨治 (筑波技術短大), 洪 政国 (日本 IBM), 杉田繁治 (民博)

〔概要〕 民族学学習を目的とするカード型ハイパーメディアとインタラクティブビデオの製作経験と考慮点。

●見学：発表終了後、国立民族学博物館の見学を予定しています。

11月13日 (金)

—9:00~12:10—

●認 知

(7) 新聞記事検索における行動の変化について 坂 朋子, 小澤英昭, 小林直樹 (NTT)

〔概要〕 記事検索行動の観察から、記事の概念的／表層的記憶と行動相互の影響とその利用を考察。

(8) CG を用いた迷路における認知地図の形成と現実感について

幸島明男, 仁木和久 (電総研), 小谷善行 (農工大)

〔概要〕 迷路の画像の認識実験の結果から、計算機との対話における認知的な現実感を考察。

●音楽情報

(9) マルチメディアを用いたミュージカル制作支援システム構想

有吉勇介, 島村 栄, 下條真司, 宮原秀夫 (阪大)

〔概要〕 ミュージカル製作におけるドキュメントの作成、利用を支援するハイパーメディアシステムの構想。

(10) コードおよびメロディ・パートからの感性情報の抽出

金森 務, 平井 宏, 堤喜代司, 弓場芳治, 新美康永 (京都工繊大)

〔概要〕 MIDI 楽器によるジャズ演奏を実時間処理し、コードとメロディの和声学的関係から感性情報を抽出する。

(11) サウンドインスタレーションにおけるコンピュータの利用 —「神経質な生き物たち」を例にとって—

平野砂峰旅

〔概要〕 サウンドインスタレーション作品「神経質な生き物たち」のシステムと作品コンセプトを解説する。

—13:10~17:00—

●対話と言語

(12) 文章誤り検出ツールの実用化に対する基礎的実験

下村秀樹, 酒井貴子, 並木美太郎, 中川正樹, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 人間の文章誤り検出能力と誤り検出ツールがその能力に与える影響についての実験結果の報告。

(13) 音声自由対話システム TOSBURG II —マルチモーダル応答と音声応答キャンセルの利用—

竹林洋一, 永田仁史, 瀬戸重宣 (東芝), 新地秀昭, 橋本秀樹 (東芝ソフトウェアエンジニアリング)

〔概要〕 システム応答を速ぎって入力可能な不特定ユーザを対象とした実時間音声対話システムの試作。

●標準化とペンコンピュータ

(14) HCI の国際標準化 —その 1: 標準化の視点とユーザビリティ—

浜田 洋 (NTT), 森川 治 (製科研), 小川克彦 (NTT)

〔概要〕 ISO における HCI の標準化の概要、およびユーザビリティの標準化動向。

(15) HCI の国際標準化 —その 2: デザインプリンシプルとガイドライン—

森川 治 (製科研), 浜田 洋 (NTT)

〔概要〕 ISO における HCI の標準化、特に対話設計の設計基準、ガイドラインに関する標準化動向。

(16) ペン入力操作の記録・再生・編集方式とその応用

釣 克成, 唐澤郁子, 守屋慎次 (電機大)

〔概要〕 手書きの説明図を作成し、プログラム行との連動表示や図の修正等を論議中に話しながら実行。

(17) 表示一体型液晶タブレットを用いた“未”ウィンドウシステムの設計と実現

河又垣久, 宮島 靖, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

〔概要〕 ペン入力のユーザインタフェース研究基盤となるウィンドウシステムの構成と機能。

* 今回の研究会は、第17回 音楽情報科学研究グループ研究発表会 (主査: 平田圭二, 担当幹事: 才脇直樹) も合同で開催されます。

◆ 第58回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 26件)

(主査: 河岡 司, 幹事: 滝沢 誠, 寺中勝美, 水野忠則)

日 時 平成4年11月19日(木) 9:00~17:00

20日(金) 9:00~17:00

会 場 琉球大学 大学会館

〔沖縄県中頭郡西原町字千原1, 那覇市内バスターミナルより, バス: 系統97番(首里経由琉球大学行き)または, 系統98番(バイパス経由琉球大学行き) 終点下車(約40分). Tel. 098(895)2221〕

議 題

11月19日(木)

—9:00~12:00—

(1) 移動体トランザクションのデッドロック問題 濱田 賢, 滝沢 誠 (電機大)

〔概要〕 移動体システムにおけるデッドロック問題について論じる。

(2) 統合マルチメディア LAN の概念と実現 林 恒俊 (立命館大), 久保正敏 (京大)

〔概要〕 統合マルチメディア LAN について, 基本サービス機能, 構成原理, 実装技法などを検討し報告する。

(3) デフォルトアドレスと寿命値パラメータを用いた広域移動体通信のためのルーティングプロトコル

塚本昌彦, 田中理恵子 (シャープ)

〔概要〕 IS-IS プロトコルが動作する OSI ネットワークで移動体通信を可能にするプロトコルを提案する。

(4) データ交換処理における呼接続方式の検討

有満秀浩, 藤田克孝, 濱田 晃 (NTT)

〔概要〕 パースト性の高い呼接続処理を平滑化し, 接続遅延および他接続要求への影響を最小限とする方式。

(5) Using BAN Logic for the proof of a registration protocol

村山優子 (慶大)

〔概要〕 ネットワーク上のホストアドレス登録プロトコルをフォーマルな形で検証する。

(6) ネットワーク管理アプリケーションインタフェースの検討

森 隆彦, 後藤真一郎 (NTT)

〔概要〕 ネットワーク管理用アプリケーションインタフェースの高機能化に関する技術課題について論じる。

—13:00~17:00—

(7) 招待講演: 人間指向情報処理

松下 温 (慶大)

〔概要〕 グループウェアを実現させるための技術, 空間的情報処理のすすめ, 曖昧情報検索と画像検索。

(8) 協調作業環境のためのマルチメディアデータモデルの一考察 一建築設計情報データベースの設計—

中村竜也, 宮田功治 (NTTデータ), 高木裕之 (鹿島建設)

〔概要〕 協調した作業をする場合に必要となる共有情報のデータモデリングについて考察する。

(9) マルチメディアデジタルオフトークサービスの検討

下川義弘, 岩渕 明, 湯口 徹 (NTT)

〔概要〕 MIDI に静止画等を取りこんだ放送型のサービスを例にデジタル・オフトークの実現方法を述べる。

(10) 共有ウィンドウのための疎結合共有ポインタ

中島 周 (日本IBM)

〔概要〕 マウスの動きで制御するシステムポインタを用いたテレポインティングの方法について述べる。

(11) LOTOS と時制論理に基づくプロトコル検証

高橋 薫 (東北大), 加藤 靖, 安藤敏彦 (仙台電波高専), 野口正一 (東北大)

〔概要〕 LOTOS によるプロトコル仕様に対して, 時間的性質の検証を可能とする方法論を提案する。

(12) シミュレーション関係に基づく LOTOS 仕様の検証システム

山野敬一郎, 太田正孝 (高度通信システム研究所), 高橋 薫 (東北大)

〔概要〕 LOTOS を用いた仕様の段階的な開発を支援するための検証システムについて述べる。

(13) MSC による LOTOS 仕様の記述 安藤津芳, 太田正孝 (高度通信システム研究所), 高橋 薫 (東北大)

〔概要〕 メッセージシーケンスチャートによるプロトコル記述を LOTOS 仕様に解釈する方法を述べる。

11月20日(金)

—9:00~12:00—

(14) 優先度付き放送通信プロトコルにおけるスコープ周期方法

中村章人, 滝沢 誠 (電機大)

〔概要〕 放送通信での, 優先サービス提供方法について述べる。

(15) リングネットワークにおけるパケット伝送特性

照屋 健 (琉球大), 白鳥則郎, 野口正一 (東北大)

〔概要〕 定常情報伝送率, 過渡情報伝送率, パケット伝送遅延等のパケット伝送特性について述べる。

(16) リングネットワークにおけるスロット割当方式の比較

照屋 健 (琉球大), 白鳥則郎, 野口正一 (東北大)

〔概要〕 スロット割当方式を提案し, これら方式のネットワークに及ぼす影響について比較する。

(17) モジュールのパイプライン結合による分散処理の一方

仙田修司, 美濃彦彦, 池田克夫 (京大)

〔概要〕 通信と処理のバランスを考えた負荷分散方式を提案し, 実験によりその有効性について考察する。

(18) リソース指向分散環境の設計および実現

谷林陽一, 今井 功, 佐藤文明, 中川路哲男, 水野忠則 (三菱電機)

〔概要〕 処理の分散と資源の管理を統合した分散処理環境を提案し, その設計および実現について述べる.

(19) 分散環境におけるハイパーテキストをベースとした仕様/設計記述法とジャストインタイム設計の実験

岡田二郎 (IPA), 渡辺 新 (東洋情報システム), 浜本 剛 (情報数理研究所)

〔概要〕 分散環境におけるソフト開発の問題解決に(トヨタの)カンバン方式を導入するための方法論と研究実験.

—13:00~17:00—

(20) コミュニケーションコンピューティングの提案とその実施例

服部進実 (金沢工大)

〔概要〕 ユーザ主体のサービス制御やシステム構築をめざすコミュニケーションシステムの考え方を述べる.

(21) 自律分散型計算モデルを用いたコミュニケーションツールの記述

五十嵐敏明, 布川博士, 野口正一 (東北大)

〔概要〕 メッセージ概念を用いて分散システム上にユーザ間のコミュニケーションのためのツールを記述する.

(22) 異機種間プロセス移送メカニズムの試作

長澤育範, 相田 仁, 斉藤忠夫 (東大)

〔概要〕 異機種間のプロセス移送の実現方法に関して, 考察した方式とそれを試作した結果について述べる.

(23) 複製型共有メモリにおけるメモリ内容の一貫性についての検討

小口正人, 相田 仁, 斉藤忠夫 (東大)

〔概要〕 複製型共有メモリの内容の一貫性の問題を一般的なコンシステンシモデルなどと比較して検討する.

(24) 異機種間分散共有メモリのためのコンパイラシステム

川合史朗, 相田 仁, 斉藤忠夫 (東大)

〔概要〕 データ表現形式が異なる機種間でメモリ共有を実現するためのコンパイラシステムの拡張について.

(25) 属性による連想アクセス機能を有する分散ファイルシステム: ALeFs

稲村 浩, 盛合 敏 (NTT)

〔概要〕 分散ファイルシステムにおいて要求条件によるアクセスの実現のため属性による名前付けを導入した.

(26) 述語列のリアルタイム収束性のリソンププロトコル設計への適用

川島健一, 角田良明, 菊野 亨 (阪大)

〔概要〕 正常状態を表す述語にある系列長の範囲で収束する性質のリソンププロトコル設計への適用法を提案.

*電子情報通信学会(情報ネットワーク研究会)協賛

◆ 第85回 人工知能研究会

(予定発表件数: 8件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 沼尾正行, 松原 仁, 吉田裕之)

日 時 平成4年11月19日(木) 13:00~17:15

11月20日(金) 9:30~16:00

会 場 琉球大学 大会館 第1会議室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) 非3次元線画の解釈法

島谷 明, 鏑沢 勇 (NTT)

〔概要〕 3次元物体の輪郭線ではない複雑な線画において, 人間にとって自然な解釈を抽出する方法を示す.

(2) 部分解を利用した制約充足問題解決

野中 哲 (NTTデータ)

〔概要〕 制約充足問題を繰り返し解く際の部分解の利用と, 定性推論の状態遷移問題への適用について述べる.

(3) 準同型変換による抽象化を用いたプランニング

馬淵浩司, 赤間 清, 宮本衛市 (北大)

〔概要〕 準同型変換による問題の抽象化を提案し, その抽象化を用いたプランニングの実行例を示す.

(4) 多項式時間仮説推論を達成するネットワーク化バブル伝播アルゴリズム

大沢幸生, 石塚 満 (東大)

〔概要〕 整数計画法の高速解法を推論ネットワーク上の実数真理値伝播に変換し, 更に推論を高速化する手法.

(5) 最適解計算仮説推論高速化のための知識ベースの部分コンパイル法

堂前宣夫, 石塚 満 (東大)

〔概要〕 グローバル制約条件を用いることにより, 述語論理知識ベースの部分コンパイルを行う.

(6) 2次元メッシュ生成システムの開発

高田 修, 中西広吉, 堀之内成明, 永岡 真 (豊田)

〔概要〕 計算力学における格子生成に対し, 依存関係に基づく探索方法を用い, 効率の良いESを構築した.

(7) 事例を用いた目的指向型類推

前田 茂 (ICOT)

〔概要〕 過去の事例に現れる問題解決の目的を利用した類推の一方式について述べる.

(8) Towards a nonmonotonic reasoning in multiagent world

松田 聖 (東京電力)

〔概要〕 マルチエージェント環境における他者の非単調推論に関する非単調推論の形式化について述べる.

*今回の研究会は電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)との共催で開催されます. 上記会告は9月4日現在申込みによるものでそれ以降の申込みを含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌10月号に掲載されますのでご了承ください.

◆ 第80回 コンピュータビジョン研究会

(予定発表件数: 14 件)

(主査: 杉原厚吉, 幹事: 井宮 淳, 尺長 健, 長谷川純一)

日 時 平成4年11月19日(木) 時間未定
11月20日(金) 10:30~17:40

会 場 京都大学 工学部 情報工学教室 第1講義室

[京都市左京区吉田本町, JR: 京都下車, 地下鉄: 烏丸線今出川下車, 市バス: 農学部前または百万遍下車徒歩約3分. Tel. 075 (753) 5867 (美濃導彦)]

議 題

11月19日(木) プログラム未定

11月20日(金) **—10:30~12:00—**

- (1) 3次元画像復元のための流体方程式による正則化手法 田村進一(阪大), 岡崎耕三(福井大)
- (2) 特徴の安定指数を用いた剛体の3次元運動の推定 宮鍋庄悟, 金子俊一, 本多庸悟(農工大)
- (3) 照度差ステレオ法による肌表面形状の再構成

新本浩一(コーセー), 本多庸悟, 金子俊一(農工大)

- (4) カラー照度差ステレオによる3次元形状の復元 富田 安, 金子俊一, 本多庸悟(農工大)
- (5) 幾何学的仮説の統計的検定 金谷健一, 浦沢康二(群馬大)
- (6) くりこみ法によるオプティカルフローの3次元復元 岩崎利夫, 金谷健一(群馬大)

—13:00~17:40—

- (7) 招待講演(演題未定) J. Aloimonos(米国・メリーランド大)
- (8) 招待講演(演題未定) J. Crowley(フランス・LIFIA)
- (9) Geometric Hashing による画像マッチングのロバスト性向上について

川西康之, 出口光一郎, 森下 巖(東大)

- (10) 正則化を用いた scale-space 上の一般化図形の塊化手法 本谷秀堅, 出口光一郎(東大)
- (11) マルチスネークによる動物体の輪郭追跡 福井和広, 久野義徳(東芝)
- (12) 仮想光源による距離画像分割 石山 豊, 富田文明(電総研)
- (13) 国際会議“ECCV '92”報告 谷内田正彦(阪大)他
- (14) 国際会議“CVPR '92”報告 浅田 稔(阪大)他

*今回の研究会は電子情報通信学会(パターン認識・理解研究会)との共催で開催されます。上記会告は8月26日現在の申込み分によるもので、それ以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌10月号に掲載されますのでご了承ください。

*19日の研究会終了後、研究室見学ならびに懇親会を予定しています。奮ってご参加ください。

◆ 第92回 自然言語処理研究会

(発表件数: 12 件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 徳永健伸, 永井秀利, 林 良彦)

日 時 平成4年11月19日(木) 13:30~17:00
20日(金) 10:00~15:50

会 場 京大会館 102号室

[京都市左京区吉田河原町 15-9, JR: 京都下車, 市バス 206 系統 (A2 乗場): 東一条下車, 旧白川通りに入って徒歩7分. Tel. 075 (751) 8311]

議 題

11月19日(木)

- (1) 文章の表現形式に基づいた要約文章の生成について 田村俊哉, 田村直良(横浜国大)
- [概要] 筆者の主張を述べた文を含む文脈を考慮し, 原文の 1/10 程度を目指した要約文章の生成手法を示す。
- (2) 主張の正当性を論証する文章の生成について 瀬川 修, 田村直良(横浜国大)
- [概要] 与えられた主張を論証する過程から文章としての論旨の展開を決定し, それを文章構造へと変換する。
- (3) 文章生成における推敲機能の実現について 乾健太郎, 徳永健伸, 田中穂積(東工大)
- [概要] 依存指向バックトラックを用い, 一度生成した文章を効率よく書き換えるシステムの実現と評価。
- (4) 先祖表を用いた一般化 LR パズアルゴリズムの性能評価

山田耕一, K.G. Suresh, 帖佐正裕, 沼崎浩明, 田中穂積(東工大)

[概要] LR 法に先祖表を導入した効率のよい構文解析法をC言語で実現したのでその性能について報告する。

- (5) 型付き素性構造の差分 小暮 潔(NTT)

[概要] 型付き素性構造の階層的記述を得るために必要な差分演算について述べる。

11月20日(金)

—10:00~12:00—

(6) 手がかり語および語の類縁性を併用した段落分け

山本和英, 増山 繁 (豊橋技科大), 内藤昭三 (NTT)

〔概要〕 手がかり語に関する情報と, 語の類縁性から算出した結束度の二つを考慮した段落分けを試みる。

(7) キーワード法による諺検出のモデル

土井晃一 (富士通研), 金原史和, 田中英彦 (東大)

〔概要〕 文中での諺の出現の仕方について考察し, 検出のためのアルゴリズムについても考察する。

(8) アイロニーの検出について

滝澤 修 (通信総研)

〔概要〕 言外の意味を持つ表現であるアイロニーを状況を手がかりにして工学的に検出する方法を提案する。

—13:10~15:50—

(9) 格構造解析への評価関数の導入による統語的曖昧性の解消

黒橋禎夫, 長尾 真 (京大)

〔概要〕 格フレームとの対応度を各述語構造の評価順とし, その総和の最大値を求めることで統語構造を決定する。

(10) 優先度=意味ファジィ \wedge 意味確率 \wedge 構文確率

李 航 (日電)

〔概要〕 自然言語解析におけるあいまい性解消のための優先度計算モデルを提案する。

(11) ハイパー・シソーラスとその学習

李 航 (日電)

〔概要〕 意味的な知識の表現モデルであるハイパー・シソーラスを提案し, さらにその学習方法を提案する。

(12) FLINS: あいまい自然言語対話システムのデザインコンセプト

田野俊一, 岡本 渉, 岩谷敏治 (国際ファジィ工学研)

〔概要〕 自然言語のあいまいさを取り扱える対話システム FLINS のデザインコンセプトについて述べる。

◆ 第30回 アルゴリズム研究会

(予定発表件数: 8件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日 時 平成4年11月20日(金) 9:30~15:20

会 場 広島大学 工学部 第二類 類会議室 C1-112

〔東広島市鏡山町, JR: 東広島下車, タクシーで15分, または JR(山陽本線): 西条下車, バス20分, Tel. 0824(22) 7111〕

議 題

(1) 各種ソーティングアルゴリズムの実際的评价

浅野哲夫 (大阪電通大)

〔概要〕 各種のソーティングアルゴリズムをさまざまな角度から実験的に評価した結果について報告する。

(2) The 3-Edge-Connectivity Augmentation Problem for Specified Set of Vertices.

田岡智志, 間島利也, 渡辺敏正 (広島大)

〔概要〕 指定点集合の3辺連結化に関する辺付加問題に対する解法について述べる。

(3) The k -Edge-Connectivity Augmentation Problem with Multiple-Edge Addition.

間島利也, 田岡智志, 渡辺敏正 (広島大)

〔概要〕 付加辺のコストが異なってもよい k 辺連結化問題に対し多重辺付加を許した場合の近似解法について。

(4) 根がなく順序がない木の間の距離の一計算法

六車智一, 田中栄一, 増田澄男 (神戸大)

〔概要〕 根がなく順序がない木の間の距離を定義し, 計算法を提案した。化学への応用についても述べている。

(5) An Algorithm of Constructing a k -partite Graph from a k -partite Graphical Sequence Set

高橋昌也 (愛知技術短大)

〔概要〕 k 組グラフ的な k 個の次数列から k 組グラフを作る多項式時間アルゴリズムを提案する。

(6) An Algorithm of Constructing a Directed Multigraph from a Directed Multigraphical Sequence Set

高橋昌也 (愛知技術短大)

〔概要〕 有向多重グラフ的な2つの次数列から有向多重グラフを作る多項式時間アルゴリズムを提案する。

(7) 長方形の学習可能性

川瀬 智 (東工大)

〔概要〕 平面上の任意の長方形に対し, 多項式個の例から高い確率で ε 近似である長方形を出力する方法を考案。

(8) 国際会議報告: FOCS '92 (予稿集なし)

加藤直樹 (神戸商大), 岩野和生 (日本IBM)

*今回の研究会は電子情報通信学会(コンピュータ研究会)との共催で開催されます。上記会告は9月5日現在の申込みによるもので, それ以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌10月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ 第24回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：5件)

(主査：一松 信，幹事：三好和憲，矢野米雄，吉田瑞穂)

日時 平成4年11月20日(金) 13:00~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8. 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，または JR：浜松町下車
バス渋谷ー東京タワー線東京タワー，渋谷ー東京駅八重洲口線虎の門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211]

議 題

- (1) Common Lisp インストラクションシステム 太田信康，江藤 香，松田郁夫 (日本工業大)
- (2) ISM 法のインストラクションシステム 江藤 香，松田郁夫 (日本工業大)
- (3) 動指標を用いたタッチタイプレARNINGプログラム 木村 清 (尚絅短大)
- (4) ファジィ項目関連構造分析による学習者の特性解析 伊藤公紀，大内 東 (北大)
- (5) ノートパソコン全員必携による統合教育環境の構築 石塚隆男，長沢伸也，西村康一 (亜細亜大)

◆ 第16回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数：6件)

(主査：杉田繁治，幹事：及川昭文，小沢一雅，洪 政国)

日時 平成4年11月27日(金) 10:30~17:00

会場 中京大学 情報科学部 人工知能高等研究所 会議室

[愛知県豊田市市立101, JR：名古屋より地下鉄(東山線)：伏見下車，地下鉄(鶴舞線)または名鉄(豊田新線)：
浄水下車(約35分)，学バス(約5分). Tel. 0565 (45) 0971]

議 題

—10:30~12:30—

- (1) 似顔絵コンピュータ PICASSO 開発の試み 村上和人，興水大和，山中 晶，福村晃夫 (中京大)
[概要] よい似顔絵とは何か? コンピュータによる顔の特徴抽出から似顔絵生成までを概観。
- (2) 3次元地理情報からの古代のろし通信路の探索実験 —4次元歴史空間システムの構想 [第2報]—
加藤常員，小沢一雅 (大阪電通大)，都出比呂志 (阪大)
[概要] 4次元歴史空間システムの3次元地理情報処理機能を利用した弥生時代・のろし通信路の探索の試み。
- (3) 問題解決と感情のシミュレーション 張 佳吟，西島恵介，久保康司，藤田米春 (大分大)
[概要] 問題解決のプランニングから実行を経て，失敗したときの感情のシミュレーション。

—14:00~16:00—

- (4) 語の意味のあいまいさへのファジィ論的アプローチ 中村和男 (製品科学研)
[概要] 日常的の意味のあいまいさの様相を考察，用語間のあいまいな意味構造のファジィ分析法。
- (5) 韻律は個人のものか —作者不詳のインド古典文献の同定と層分けのために— 中谷英明 (神戸学院大)
[概要] 韻律分析結果の解釈：作者同定，叙事詩の層分けなどに有効な無意識の因子の抽出法とその評価。
- (6) 機械可読テキストにおける文脈の基本演算について 小沢一雅 (大阪電通大)
[概要] 機械可読テキストからの内容検索に有効な文脈間の基本演算の提案および簡単な実験による検証。

—16:00~17:00—

- (7) 見学：中京大学 情報科学部 教育研究施設

◆ プログラミングー言語・基礎・実践ー研究会

第10回 研究会を下記のとおり開催します。多数の発表申し込みをお待ちしています。

日 程 平成5年1月29日(金)

会 場 富山県立大学

議 題 特集：ビジュアル言語／ユーザインタフェース

発表申込締切 平成4年10月30日(金)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で，発表題目，発表者名，所属，概要(46字以内)，発表申込者連絡先(住所，氏名，Tel, FAX, e-mail)をご記入のうえ，下記の幹事あてに電子メールまたは FAXで直接お申込みください。

申 込 先 久世和資 (日本IBM) e-mail: kuse@trl.ibm.co.jp FAX 03 (3265) 4251 Tel. 03 (3288) 8436

◆ 人工知能研究会

第87回 研究会を下記のとおり開催しますので奮ってご投稿ください。

日 程 平成5年3月4日(木)
 会 場 東 京
 議 題 特集: 学習の応用
 発表申込締切 平成4年12月22日(火)

◆ 第6回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会 (発表件数: 2件)
 (主査: 山田尚勇, 幹事: 牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成4年11月9日(月) 13:30~17:00
 会 場 機械振興会館 地下3階 第2研修室(所在地は前記参照)
 議 題

* 2件発表予定

* 日本工業技術振興協会(ユーザドキュメント研究部会)との共催

年間登録費 3,000円/3回(未登録者: 2,000円/1回)

問合せ先: 福島または杉田(富士通) Tel. 03(3216)9725 FAX 03(3215)5987

◆ ソフトウェア工学研究会
 ◆ 仕様記述の効率的適用と評価研究グループ

研究発表会参加のご案内

「仕様記述の効率的適用と評価」研究グループは、1990年7月に発足し、仕様記述手法/言語を、実務的な問題に適用して、それぞれの得失を評価・議論してきました。2年間の時限終了に当たり、本研究グループの成果の発表を行うと共に、本研究グループのメンバ以外の方も発表・参加していただく「仕様記述の特集研究会」を開催することになりました。この研究会は、ソフトウェア工学研究会のご好意により、ソフトウェア工学研究会の通常の研究会活動の一環として行われます。

通常の研究会の発表の形式ではなく、発表時間を長めにとり、関連研究の発表を数件まとめた後に、質疑も含めてその関連話題に密着した内容で、パネルの形式ではなく、1時間前後の討論を全員で行います。

プログラム等の詳細は次号(11月号)に掲載されます。以下に概要を示します。仕様記述に関連した研究について有益な討論ができますように多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 程 平成4年12月14日(月)~16日(水)
 *日程が当初の予定より変更になっておりますのでご注意ください。
 会 場 電子技術総合研究所 8階 大会議室
 発表件数 24件を予定

発表の主なキーワード

通信システム, 計測制御システム, プラントシステム, トランザクションシステム, 並行システム, リアルタイム制御, リアクティブシステム, 工業用 CASE, プロトコル記述, ソフトウェア部品, 性能仕様モデル, 自動生成, オブジェクト指向, リアルタイム SA, OOA, ソフトウェアプロセス, 形式的仕様記述, SDL, LOTOS, Z, 時制論理, 仕様再利用

*計測自動制御学会(離散事象システム研究会), 電気学会(金属産業技術委員会, 鉄鋼プロセス制御ソフトウェアの CAE 調査専門委員会) 協賛

情報処理学会 第 46 回 全国大会実施要領

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出してください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

開催期日 平成5年3月23日(火)~26日(金)

会場 工学院大学(東京都新宿区西新宿)

日程一覧 1. 講演申込書の送付

学会誌本号(Vol. 33, No. 10)掲載の講演申込書に記入して、応募規程 IV. の申込方法により **12月1日(火)までに(必着)** お送りください。なお12月1日に持参する方は、本部事務局会議室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

3. 原稿用紙等の送付

12月中旬に事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。講演番号も同時に通知いたします。

4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して**1月25日(月)までに**、学会事務局に必着するようご提出ください。

5. 大会プログラムを学会誌2月号(Vol. 34, No. 2)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

応募規程

I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成4年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

III. 講演論文該当分野

1. 情報科学一般

A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

C. 教育

- a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他

2. 基礎理論及び基礎技術

A. 情報数学

- a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他

B. 情報理論及びOR

- a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他

C. データ解析

- a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他

- D. 数値計算
 a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
- E. シミュレーション
 a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
3. 人工知能及び認知科学
- A. 基礎理論
 a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクショニズム, i. その他
- B. 人工知能システム
 a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
- C. 自然言語処理
 a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
- D. パターン認識
 a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
- E. 生体情報処理
 a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
- F. 感性情報処理
 a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
4. データ処理
- A. 音声処理
 a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
- B. 画像・図形処理
 a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
- C. テキスト処理
 a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
- D. マルチメディア処理
5. ソフトウェア
- A. 基礎理論
 a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法理論, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
- B. プログラム言語及び仕様記述言語
 a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
- C. 言語処理系
 a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール
 a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
 a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
 a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
 a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他

6. ソフトウェア工学

A. 開発技術

- a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他

B. テスト・保守

- a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他

C. ソフトウェアプロセス

- a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他

D. 開発環境

- a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他

E. ヒューマンファクタ

- a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他

7. ハードウェア

A. 基礎理論

- a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他

B. 論理回路

- a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他

C. デバイス

- a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他

D. アーキテクチャ

- a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他

E. 周辺・端末

- a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他

F. 設計技術及び設計自動化

- a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他

G. 開発環境

- a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他

H. テスト・検証

- a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他

8. ネットワーク

A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他

B. ネットワーク管理

- a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

C. コンピュータネットワーク

- a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

9. システム

A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

10. 信頼性と安全性

A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

11. 応用

A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して12月1日(火)までに(必着) 申込むこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込むこと。
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、1月25日(月)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワードプロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお勧めします)。

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。

2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の隣に設けられた講演者控え席で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

本会協賛等の行事案内*

92 障害者の情報処理教育と就労を考えるーびわ湖会議

平成4年10月22日(木)~23日(金)

滋賀県・琵琶湖ホテル

第4回 画像入力シンポジウム

平成4年11月10日(火)

東京・工学院大学

第19回 人工知能セミナー

平成4年11月25日(水)

大阪市・日本ユニシス

第1回 人工物工学シンポジウム

平成4年11月26日(木)~27日(金)

東京・新宿センタービル

東京大学工学講座「やわらかい工学」

平成4年12月9日(水)

東京大学

第7回「大学と科学」公開シンポジウム

平成5年1月8日(金)~9日(土)

東京・経団連ホール

第4回 計測連合シンポジウム

平成5年3月16日(火)~17日(水)

東京・日本学会会議

第14回 電気・電子工学シンポジウム

平成5年3月26日(金)~27日(土)

東京・日本科学技術連盟

第10回 10周年記念センシングフォーラム

平成5年4月6日(火)~7日(水)

東京工業大学

ソフトウェア・シンポジウム '93

平成5年6月9日(火)~11日(木)

仙台市戦災復興記念館

* 詳細は本号会議案内欄参照

学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（本号末尾に添付）にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。異動の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご留意ください。

情報処理学会第46回全国大会
講演申込書

受番	付号	
講番	演号	

掲載ページ	
-------	--

第46回全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題 注1)						
フリガナ 注1)						
著 者 名						
所 属 名						
フリガナ				← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>正会員</td> <td>学生会員</td> </tr> </table>	正会員	学生会員
正会員	学生会員					
著 者 名						
所 属 名						
論文該当分野 注2)	(1)	(2)	(3)	*1 注3) *2 注3)		

- 注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。
 注2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野、開発環境”の場合、6Dと書く)
 注3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の*1または*2に記入してください。

論 文 要 旨 (300字程度)

第46回全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名 (講演者氏名をお書きください)

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手175円を添付のこと。

講演番号		(楷書でハッキリ記入してください)
原稿用紙送付先	〒 _____	
機 関・部 課 名	_____	
フリガナ	_____	
講演者氏名	_____ 殿 (会員番号 _____)	
Tel.	_____ (ex. _____) FAX _____	

会 告

第 46 回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1 件につき、会員は 7,000 円、学生は 4,000 円（講演者には参加章・プログラム・論文集 1 冊を事前発送します）。
2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにとまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774〕にご送金ください。
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。
但し、2 件以上の場合には 1 件増すごとに 4,000 円か 7,000 円をご送金ください。
注) ご送金は登壇発表者名をお願いします。
6. 2 件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成 4 年 12 月 1 日までにお支払い願います。

講演参加費	4,000 円	件	7,000 円	件
講演者氏名	○		○	
	○		○	
	○		○	
合計金額				円
必要書類：請求書 通、納品書 通、見積書 通 ※必要のない方は空欄のままです。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5—83484） ※該当個所にレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
（楷書でハッキリ記入してください）				
講演参加費 取扱者 連絡先	〒 _____			
機関・部課名	_____			
フリガナ 氏名	_____ 殿			
Tel.	_____ (ex. _____)			FAX _____

「第4回 コンピュータシステムシンポジウム」開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。本シンポジウムでは、並列 OS、分散 OS、OS 構成法など、現在の OS 研究において、最もアクティブな分野の発表を多数予定しています。また、OS に何が求められているかについて、一般講演のほか、チュートリアル講演やパネルなどによって活発な議論を行いたいと考えています。国内の関連分野の研究者が一同に会するこの機会に、奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

日 時 平成 4 年 10 月 27 日 (火) 9:30~17:40
28 日 (水) 9:30~16:00

場 所 工学院大学大講堂 (312 号)
新宿区西新宿 1-24-2 (新宿駅西口徒歩 5 分)

参加費 情報処理学会オペレーティング・システム研究会会員 16,000 円
その他の情報処理学会会員 17,000 円, 非会員 25,000 円, 学生 5,000 円
(懇親会費および論文集代を含む)
論文集のみ 5,000 円 (送料を含む)

申込締切 平成 4 年 10 月 20 日 (火)

申込先 情報処理学会 シンポジウム係
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 10 月 27 日 (火)

基調講演 (9:30~10:30)

- マルチメディアに関するシステムの研究

司会 田胡 和哉 (日本 IBM)

鈴木 則久 (日本 IBM)

一般講演 (10:30~12:00) 分散処理

座長 清水謙多郎 (電通大)

- A Simulation Study of Static and Adaptive Load Balancing Strategies in Heterogeneous Distributed Computer Systems 張 勇兵, 亀田 壽夫, 清水謙多郎 (電通大)
- 高速な通信媒体のための通信機構 根岸 康, 干場美佳子, 田胡 和哉 (日本 IBM)
- ヘテロ環境をサポートする分散処理 OS の構築 箱守 聡, 臼沢 啓明, 谷口 秀夫 (NTT データ通信)

—— 昼 食 (12:00~13:00) ——

チュートリアル講演 (13:00~14:00)

- シームレスな協調メディアのデザイン

司会 清水 康 (筑波大)

石井 裕 (NTT)

一般講演 (14:00~15:00) 技術統合

座長 並木美太郎 (農工大)

- 手書きインタフェースを支援する OS OS/omicron 第 4 版の構成 早川 栄一, 並木美太郎, 高橋 延匡 (農工大)
- 研究者用計算機センター向きオペレーティング・システムに関する一考察 金沢 正憲 (京大)

パネル討論 (15:20~17:40)

- OS に何が求められているか?

司会 田胡 和哉 (日本 IBM)

パネリスト 平木 敬 (東 大) アーキテクチャ
松岡 聡 (東 大) プログラミング言語
清水 康 (筑波大) データベース
石井 裕 (NTT) ヒューマンインタフェース
未 定 オペレーティング・システム

懇親会 (18:00~19:30, 発表会場と同棟の第 1 会議室)

第 2 日 10 月 28 日 (水)

チュートリアル講演 (9:30~10:30)

司会 清水謙多郎 (電通大)

- モバイル・コンピューティング

寺岡 文男 (ソニーコンピュータサイエンス研究所)

- 一般講演 (10:30~12:00) 並列 OS 座長 加藤 和彦 (東大)
- 並列オペレーティング・システム K1 —マイクロカーネルの考察と設計—
桑山 雅行, 最所 圭三, 福田 晃 (九大)
 - 共有メモリ型マルチプロセッサにおけるスケジューリング方式の評価 —プロセッサグループによる2レベルスケジューリング—
甲斐 久淳, 桑山 雅行, 最所 圭三, 福田 晃 (九大)
 - SPARC プロセッサにおける高速コンテキスト切替え方式
酒井 浩 (東芝)
- 昼食 (12:00~13:00)—
- チュートリアル講演 (13:00~14:00) 司会 加藤 和彦 (東大)
- データベースとオペレーティング・システム
清木 康 (筑波大)
- 一般講演 (14:20~15:50) OS 構成法 座長 横手 靖彦 (ソニーコンピュータサイエンス研究所)
- Apertos における適応型オブジェクト管理
光澤 敦 (慶大), 横手 靖彦 (ソニーコンピュータサイエンス研究所), 所 真理雄 (慶大)
 - 分散 OS XERO における分散共有格納庫について
加藤 和彦, 成田 篤信, 猪原 茂和, 坂田 尚也, 益田 隆司 (東大)
 - 単一仮想記憶域を特徴とする 64 ビット・アドレス指向 OS
瀬川 英生, 野末 浩志, 申 承昊, 斉藤 光男, 高橋 俊成, 岡本 利夫, 前田 賢一 (東芝)
- 閉会の辞 (15:50~16:00) 鈴木 則久 (日本 IBM)

論文誌特集号「画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92」論文募集

論文誌編集委員会

画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '92) は、情報処理学会コンピュータビジョン研究会と電子情報通信学会パターン認識・理解研究会の共催で、1992年7月16日から18日まで、札幌市の「かでの 27」において開催されました。2件の招待講演と115件の一般講演、および、7件の集中討論が行われ、予稿集は2分冊で900頁にのぼっています。また、参加者は250名を記録し、わが国におけるこの分野の研究者が一同に会する場となりました。

論文誌編集委員会では、上記シンポジウムの一般講演で行われた115件の研究発表を対象として、特集号の論文を募集することになりました。スケジュールは以下のとおりです。多くの著者の方々の積極的な投稿をお願いします。

なお、投稿された論文は、一般の投稿論文と全く同じ査読を経るものとしますが、一括掲載のためできるだけ迅速な査読が行われるよう努力します。

投稿論文の様式は、情報処理学会論文誌原稿執筆案内 (学会誌1992年9月号掲載) を参照してください。

投稿締切 1992年12月15日 (必着)

投稿論文には、『画像の認識・理解シンポジウム MIRU '92』特集と朱書してください。

特集号予定 1993年10月号

投稿論文送付先 160 東京都新宿区西新宿1丁目24番1号 エステック情報ビル27階
(社)情報処理学会 論文誌編集委員会
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

「コンピュータシステムシンポジウム」

参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

OS 研究会登録会員 16,000 円 正会員, 賛助会員 17,000 円 非会員 25,000 円
 学生会員 5,000 円

* 参加費には、資料代および懇親会費が含まれています。

○資料のみ (5,000 円, 送料込) _____ 冊

○送金方法 (該当するものを○でかこむ)

合計 _____ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945 | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632 |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899 | 6. 三和銀行東京公務部 21409 |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____機関・
部課名 _____フリガナ
氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「ゴミ集め(ガーベジコレクション)の基礎と動向チュートリアル」 開催について

記号処理研究会主催で下記のように、ゴミ集め(ガーベジコレクション, GC)に関するチュートリアルを行います。ゴミ集めはいまや多くの高機能言語に必須の機能となってきました。また、多くのシステムのメモリ管理手法の基本ともなりつつあります。ゴミ集めに関してはいろいろな手法が開発され、現在もまだなお活発な研究が進められています。

しかし、ゴミ集めに関してまとまった解説が書かれたことがあまりありません。そのため、新しく発明されたアイデアや技法、実時間ゴミ集め、分散ゴミ集めなどに関する新しい情報を得ようとした場合、いまだにあちこちに分散した論文にあたらないといけないのが現状です。

本チュートリアルは二部構成で、第一部では3名の講師の方がゴミ集めの基礎、実時間ゴミ集め、分散ゴミ集めについてまとまった教科書的な話をします。第二部では6名の講師がオムニパス形式でごみ集めに関するトピックスを紹介します。ゴミ集めに関心のある学生やゴミ集めが必要な言語処理系やシステムに携わっている現場の技術者にとって役立つのみならず、研究者にも有益な情報が得られるようにプログラムを工夫しました。奮ってご参加ください。

日時 平成4年11月20日(金) 9:50~17:17:00
会場 工学院大学28階第1会議室(東京都新宿区西新宿 1-24-2 新宿駅西口より徒歩5分)
参加費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生 3,000 円(学生は会員, 非会員を問いません)
 論文集のみ 4,000 円(送料込み)
申込締切 平成4年11月5日(月)(定員60名になり次第締め切らせていただきます。)
申込先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階
 (社)情報処理学会チュートリアル係

プログラム

第一部 基礎	(9:50~10:00) 開会の挨拶	
	(10:00~11:00) GCの基本アルゴリズム	日比野 靖 (NTT)
	(11:00~12:00) 実時間 GC	湯浅 太一 (豊橋技科大)
	(13:00~14:00) 分散 GC	市吉 伸行 (三菱総研)
第二部 特論	(14:30~17:00) GC 特論 (1件 20分程度)	
	目で見る GC	中西 正和 (慶大)
	Common Lisp 処理系 NX-LISP の実時間 GC	南田 英輝 (神戸 NES)
	Weak Pointer GC	寺田 実 (東大)
	Conservative GC	小野寺民也 (日本 IBM)
	ごみを回収しない GC	中澤 雅博 (SECOM)
	最近の海外の研究状況	湯浅 太一 (豊橋技科大)

「ゴミ集め（ガーベジコレクション）の基礎と動向チュートリアル」

参加申込書

平成4年 月 日

標記チュートリアルの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 10,000円, 非会員 15,000円, 学生 3,000円

*参加費には、資料代が含まれています。

○論文集のみ（4,000円、送料込） _____冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____円を

- a) 当日、会場受付にて支払います。 _____月 _____日送金します。
- b) 現金書留で
- c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562
- 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAXも可）

情報処理学会 ゴミ集め（ガーベジコレクション）の基礎と動向チュートリアル係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

会
告

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」 開催について

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム講習会」 —オブジェクト指向データベース関連技術の最新動向—

標記講習会を下記のとおり開催いたします。「オブジェクト指向データベース関連技術の最新動向」と題して、今後のデータベース技術に関連の深いトピックのうちからエージェント指向、オブジェクト指向分析設計法 OMT、マルチメディア符合化の標準化について、この分野においてご活躍中の3名の講師の方々に解説をしていただきます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。

日 時 平成4年12月7日(月) 10:00~17:15

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

参加費 会員10,000円、学生会員2,000円、一般15,000円

(講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が認定されています。参加申込書をご覧ください。)

主 催 情報処理学会データベースシステム研究会

申込締切 平成4年11月20日(金)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

● 10:00~12:00

「オブジェクト指向からエージェント指向へ」

大沢 英一(ソニー)

● 13:00~15:00

「オブジェクト指向方法論 OMT について」

羽生田栄一(富士ゼロックス情報システム)

● 15:15~17:15

「マルチメディア符号化の国際標準と最新動向」

安田 浩(NTT)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム」 —21世紀をにらんでオブジェクト指向 DBMS の今後を展望する—

標記シンポジウムを開催いたします。今回はオブジェクト指向 DBMS の現状を総括し今後を展望するという観点から、OODB の機能拡張、応用システムの構築と評価、マルチメディアと OODB、ユーザインタフェースなどに関するトピックが中心です。また、オブジェクト指向 COBOL や OODB による遺伝子 DB の構築に関する招待講演も予定されています。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。参加者数に制限がありますのでお早めにお申し込みください。なお、プログラムの詳細は次号の本欄に掲載いたします。

日 程 平成4年12月8日(火)、9日(水)

場 所 機械振興会館大ホール

特別招待講演:「オブジェクト指向 COBOL の全貌」

Dan Clarke 氏(Micro Fous 社)

CODASYL OOCTG(Object-Oriented COBOL Task Group)の初代委員長であった Dan Clarke 氏がオブジェクト指向 COBOL の全貌を明らかにする。

参加費 会員15,000円、学生会員3,000円、一般20,000円

(講習会とシンポジウムの両方に参加される場合には割引価格が設定されています。参加申込書をご覧ください。)

主 催 情報処理学会データベースシステム研究会

申込締切 平成4年11月20日(金)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会」

参加申込書

平成 年 月 日

標記シンポジウム／併設講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

- (1) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムおよび併設講習会に参加
正会員, 賛助会員 20,000 円 学生会員 4,000 円 非会員 28,000 円
- (2) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウムのみ参加
正会員, 賛助会員 15,000 円 学生会員 3,000 円 非会員 20,000 円
- (3) 併設講習会のみ参加
正会員, 賛助会員 10,000 円, 学生会員 2,000 円 非会員 15,000 円

*参加費には, 論文集代 (本シンポジウム), 資料代 (併設講習会) が含まれています。

○シンポジウム論文集のみ (6,000 円, 送料込み) _____冊

○併設講習会資料のみ (3,000 円, 送料込み) _____冊

○送金方法

- * _____円を a) 当日, 会場受付にて支払います.
b) _____月 _____日送金します.

* (b を選択した方のみご記入ください.)

b-1) 現金書留 (送金先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F
(社)情報処理学会シンポジウム係 Tel. 03 (5322) 3535)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀新宿西口支店 2049562
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人: 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

- ・送金先銀行名 _____銀行宛
- ・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より
- ・送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

会
告

「学会誌特集セミナー：ソフトウェアマネジメント」開催について

ソフトウェアマネジメントは、開発対象としてのソフトウェアの技術はもとより、生産技術、プロジェクトに関する技術、品質管理、原価管理、工程管理などの管理技術、人間要素に関する科学技術などにまたがった、学際的な技術分野である。すなわち、ソフトウェア工学、経営工学、行動科学など多様な科学技術分野からのアプローチが必要である。このような学際領域の分野の紹介は、情報処理技術としての新分野の開拓に加え、実務者への有益な情報提供として非常に有益であると考えられる。

本セミナーは、ソフトウェアマネジメントの課題の内から、特に最近大きな関心を集めているソフトウェアライフサイクルプロセスの管理、品質管理、ソフトウェアメトリクス等に重点を置いて、その基本と実際をわかりやすく解説する。講師には、情報処理学会学会誌の特集「ソフトウェアマネジメント」の執筆者を迎え、学会誌では紙面の都合で触れられなかった点や、その後の国際会議等の最近動向を加えて解説記事のポイントを分かりやすく説明していただく。ソフトウェアマネジメントに従事されている多くの技術者、管理者が本セミナーに参加されるようお勧めいたします。

日 時 平成4年12月18日(金)10時～17時
場 所 日本ユニシス本社29階大会議室(江東区豊洲1-1-1)
参 加 費 会員15,000円、非会員20,000円、学生5,000円
 (資料として学会誌「情報処理」8月号をご持参ください。)
 学会誌をお持ちでない方には、1,600円でお頒けします。
申込締切 平成4年11月24日(火)

(定員100名になり次第締め切らせていただきます。)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ(9:50~10:00)	東 基衛(早大)
ソフトウェアマネジメント概説(10:00~11:30)	東 基衛(早大), 細谷 僚一(NTT)
ソフトウェアの品質管理と品質保証(11:30~12:30)	飯塚 悦功(東大)
—— 昼 食 (12:30~13:40) ——	
ソフトウェアのライフサイクル管理(13:40~14:40)	村上 憲稔(富士通)
—— 休 憩 (14:40~15:00) ——	
ソフトウェアの品質定量評価とテスト管理(15:00~16:00)	東 基衛(早大), 保田 勝通(日立)
ソフトウェアの構成管理と保守管理(16:00~17:00)	松尾谷 徹(日電)

「学会誌特集 세미나：ソフトウェアマネジメント」

参加申込書

平成4年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 15,000 円，非会員 20,000 円，学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 セミナ係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ

氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

会
告

「第34回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々の参加を希望します。

記

日 時 1993年1月12日(火) 午前11時 受付開始 (この日の昼食は用意しません)
午後1時 開会
14日(木) 正午 閉会

場 所 箱根ホテル小涌園 (神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel. 0460 (2) 4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分
箱根湯本駅~小涌園前 約30分
タクシー: 小田原駅表口~小涌園前 約30分
箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参加費 (予稿集代、宿泊費、食費を含む。カッコ内は非会員参加費)
☆一般 38,000円 (43,000円)
☆大学院学生 27,000円 (32,000円)
※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1992年11月30日(月)

- 注) 1. 参加申し込み後やむをえず参加を取り消される場合は12月16日(水)までにお願ひします。取り消しの連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めず。
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 1月12日(火)

開会の辞 (13:00~13:15)

セッション1 (13:15~15:15)

- 今更、しかし今こそ、きれいな電子メール環境を目指して 高橋 俊成 (東芝)
- 時系列データのカオスの性質解析ツール 田仲 広明, 斎藤 靖, 鎌田 富久 (アクセス)
- 発想支援手書き環境の硬い技術と柔かい技術 中川 正樹 (農工大)

——休憩 (15:15~15:35)——

セッション2 (15:35~17:35)

- プログラミング言語教育におけるグループ演習支援ツール 久東 義典, 藤中 恵 (常磐短大)
- 機械語プログラミング教育の報告と実習用コンピュータの製作について 中西 正和, 田中 二郎, 前田 敦司, 國吉 芳夫, 石井 政幸 (慶大)
- 計算機実習を効果的に行うためのモニターシステムの試み 鈴木 悦子, 小川 貴英 (津田塾大)

報告 (17:35~18:00)

- 若手の会、夏のシンポジウム、GPCC、山内賞の報告

——夕食 (18:00~19:00)——

自由討論

第2日 1月13日(水)

セッション3 (9:00~10:20)

- 記号処理手法による数値シミュレーションコード開発支援システム

川田 重夫, 飯島 邦彦, プンミー・チュンポル, 真鍋 保彦 (長岡技科大)

- OS デバッグ環境の考察と OS デバッグ用ハイパ OS の実現

清水 正明, 早川 栄一, 並木美太郎, 高橋 延匡 (農工大)

—休憩 (10:20~10:40)—

セッション 4 (10:40~12:00)

- テキスト処理のみによる簡易卓上印刷
- UNIX マシンの計算能力と価格性能比

浜田 穂積 (電通大)

藤村 直美 (九州芸工大)

—昼食 (12:00~13:00)—

招待講演 (13:00~14:10)

- 「これからの列車運転制御システム」

佐々木敏明 (鉄道総合技術研)

—休憩 (14:10~14:25)—

セッション 5 (14:25~15:45)

- GLP と並行計算
- 一二の並行プロセスの検証問題について

渡辺 慎哉 (北大)

水谷 哲也, 五十嵐 滋, 小宮山弘樹, 辻 尚史 (筑波大)

—休憩 (15:45~16:00)—

セッション 6 (16:00~18:10)

- 対称指向プログラム言語の提案
- マイクロ Plan の近代的な実現法
— μ Plan '93 (15年ぶりの帰ってきたマイクロ Plan)—
- 実世界モデルにもとづく言語 NAIVE

小谷 善行 (農工大)

多田 好克 (電通大)

日野 克重 (富士通)

—夕食 (18:00~19:00)—

自由討論

第3日 1月14日 (木)

セッション 7 (9:00~10:20)

- 詰将棋を速く解く2つのプログラム
- 立体形状の比較法に関する考察

野下 浩平 (電通大), 伊藤 琢巳 (NTT)

向井 伸治 (前橋市工業短大), 古川 進, 小尾 誠 (山梨大)

—休憩 (10:20~10:40)—

セッション 8 (10:40~12:00)

- 一般化論理プログラムからみた項書換え系
- ライブラリ内アルゴリズム選択による最適化

繁田 良則 (北大)

須崎 有康, 田沼 均, 平野 聡 (電総研)

閉会の辞 (12:00~12:10)

米田委員長

※自由討論, ポスターセッション, マイコン・ビデオデモ等を予定しています。参加ご希望の方はご用意ください。

※一般講演は発表25分, 討論15分を予定しています。なお, 日程については若干の変更があるかもしれません。

「第34回 プログラミング・シンポジウム」

参加申込書

1992年 月 日

1. 参加区分
- | | | | |
|--------|--------------------------|--------------------------|------------|
| | 会 員 | 非会員 | 会員番号 _____ |
| ☆一般 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| ☆大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

※参加区分は、該当の□の中に✓を入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金・支払い方法

a) 当日持参します。

b) ¥ _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 _____ 月 _____ 日)

b-1) 現金書留 b-2) 郵便振替(東京 5-83484) b-3) 銀行振込(_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号(いずれも普通預金)

第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人: 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

請求先名義 _____

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇年齢は _____ 歳・内緒 男・女

◇宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望

◇そのほか特に希望があればご記入ください。(必ずその通りにすると約束はできません.)

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

◇夜の自由討論の希望テーマ _____

◇マイコン・ビデオデモなどの展示, 発表希望 _____

5. 申し込み先(下記まで郵送か FAX で送付のこと)

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

申込者
連絡先

〒 _____

機関・
部課名

フリガナ
氏 名

_____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

E-mail _____ (公開可能な方のみ記入ください)

会
告

「コンピューティングの新しい潮流」講習会のご案内

講習会を下記の要領にて開催いたします。講師の方々には最先端の技術をわかりやすく解説していただきます。多数の方々のご参加をお願いいたします。

なお、定員（100名）になり次第締切りますので、お申込みはお早めをお願いいたします。（九州地区外からの聴講も歓迎します。）

記

テーマ コンピューティングの新しい潮流
 日時 1992年11月24日（火）9：00～16：45
 場所 九州大学国際ホール（福岡市東区箱崎 6-10-1）

プログラム

開会の挨拶（9：00～9：05）	牧之内顕文（九大）
九州支部長挨拶（9：05～9：15）	大槻 説乎（九工大）
シリコンチップ上のプログラミング—新しいシステム設計法—（9：15～10：45）	安浦 寛人（九大）
休憩（10：45～11：00）（コーヒ付き）	
型理論の最近の研究動向とそのデータベースへの応用（11：00～12：30）	大堀 淳（沖電気）
昼食（12：30～13：30）	
ネットワークコンピューティングとデータベース処理（13：30～15：00）	清木 康（筑波大）
休憩（15：00～15：15）（コーヒ付き）	
オブジェクト指向分析・設計—実践と評価—（15：15～16：45）	本位田真一（東芝）

参加費 会員 4,000 円（学生 1,000 円） 非会員 5,000 円（学生 1,500 円）
 申込先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内
 情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101（内 5985 木原）
 振込先 福岡銀行箱崎支店 普 1272841 情報処理学会九州支部講習会

.....きりとせん.....

No. _____

コンピューティングの新しい潮流講習会参加申込書

氏 名 _____
 所 属 _____
 住 所 _____
 Tel. _____

参加区分 () 会員 ¥ 4,000 () 非会員 ¥ 5,000
 () 学生会員 ¥ 1,000 () 学生非会員 ¥ 1,500

送金区分 a. 現金書留 b. 銀行振込 (○印)

会
告

大学等における情報システム学の教育の実態に関する調査研究報告書 頒布のお知らせ

本学会では、平成3年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、現代社会を支える基盤技術となっている情報システムについて、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

なお、本調査研究は平成4年度も委嘱を受け、カリキュラム提案を含む調査研究を行います。

目次概要

- 2. 情報システム技術の定義
 - 3. 情報システム理論の体系
 - 4. 情報システムの構築技術
 - 5. 情報技術者の職務
 - 6. 情報システムカリキュラムの考え方
 - 7. 教育体制および環境と技術
- 付録 情報システム学カリキュラムの歴史

本報告書(300部限定)を下記によりお分けいたします。申込書(1枚1人使用のこと)を郵便、またはFAXにて下記までお送りください。なお、申込みは先着順とさせていただきます。

頒布価格 2,000円(送料、消費税込)

申込み・問合せ先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階
(社)情報処理学会 研究会係
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

..... 申 込 書

大学等における情報システム学の教育の実態に関する調査研究報告書 (IS)

申込者氏名 フリガナ _____

連絡先所属 _____ Tel. _____ FAX _____

送本先	〒 _____	希望部数 _____ 部
住所		請求書 _____ 通
所属		見積書 _____ 通
氏名		納品書 _____ 通
		請求宛名 _____
	殿	◀送本用宛名ラベルに使用 楷書にてご記入ください

送金方法 (該当欄に○印願います) *名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (社)情報処理学会

現金書留 郵便振替 (東京 5-83484) 持参

銀行振込 (いずれも普通預金口座) 第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

●送金先銀行名 _____ ●送金名義人 _____

●送金に関する問合せ先 担当者名 _____ Tel. _____

会 誌

一般情報処理教育の実態に関する調査研究報告書 頒布のお知らせ

本学会では、平成3年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、大学、高専、短大などにおける一般情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

なお、本調査研究は平成4年度も委嘱を受け、カリキュラム提案を含む調査研究を行います。

目次概要

- 2. 目的
 - 3. 一般情報処理教育の教育理念
 - 4. 一般情報処理教育カリキュラム
 - 5. 教育体制と設備
- 参考資料 各委員の提言 (A 2—A 22)

本報告書(100部限定)を下記によりお分けいたします。申込書(1枚1人使用のこと)を郵便、またはFAXにて下記までお送りください。なお、申込みは先着順とさせていただきます。

頒布価格 2,000円(送料,消費税込)

申込み・問合せ先 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階
(社)情報処理学会 研究会係
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

..... 申 込 書

一般情報処理教育の実態に関する調査研究報告書(一般)

申込者氏名 フリガナ _____

連絡先所属 _____ Tel. _____ FAX _____

送本先	〒 _____ 住所 _____ 所属 _____ 氏名 _____ 殿	希望部数 _____ 部
住所		請求書 _____ 通
所属		見積書 _____ 通
氏名		納品書 _____ 通
		請求宛名 _____

←送本用宛名ラベルに使用楷書にてご記入ください

送金方法(該当欄に○印願います) *名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (社)情報処理学会

現金書留 郵便振替(東京 5-83484) 持参

銀行振込(いずれも普通預金口座) 第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

●送金先銀行名 _____ ●送金名義人 _____

●送金に関する問合せ先 担当者名 _____ Tel. _____

会
告

「論文誌」への英文論文掲載と「欧文誌“JIP”」の統合について

平成5年1月から、現在刊行中の「情報処理学会論文誌」の国際化をはかることを目指して、英文論文も掲載することとなりました。併せて、表紙デザインを一新するなど、新しい装いの「論文誌」を平成5年1月から購読者にお届けいたします。

これにより、当学会の機関誌は学会誌「情報処理」と「論文誌」の2本立てに集約され、昭和53年に刊行された「欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING (JIP)”」は本年のVol. 15をもって休刊となります。

上記により、英文論文は、季刊であった「欧文誌」掲載から、月刊の「論文誌」に採録順に早期に掲載されることとなりますので、英文論文の積極的な投稿を期待いたしております。

つきましては、英文論文の投稿者ならびに欧文誌の購読者の方々へ、次により変更内容をお知らせいたしますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

1. 英文論文投稿者各位

- (1) 既投稿者で9月末までに採録通知のあった論文は現行の欧文誌「JIP」に掲載いたします。
10月以降の採録決定論文につきましては平成5年1月以降の「論文誌」に掲載となります。
- (2) 10月1日以降の新規投稿につきましては、前号巻末掲載の機関誌原稿執筆案内「情報処理学会論文誌 原稿執筆案内」によりご投稿ください。従来の欧文誌「JIP 原稿執筆案内」による投稿は受けません。

2. 欧文誌購読者各位

ながらくご愛読いただきありがとうございました。欧文誌「JIP」は昭和53年3月に産声をあげ、Vol. 1, No. 1を発行以来15年を経過しましたが、このたび論文誌に統合し、新たな「論文誌」としてスタートすることになりました。

つきましては、来年からも引き続き、新「論文誌」をご購読くださいますようお願いいたします。

情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」

特集号への論文投稿のおすすめ

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております。当学会のマルチメディア通信と分散処理研究会が主催する研究会やシンポジウムにおいてこれまでに発表された論文、また本テーマに関連した論文を広く公募しますので奮って投稿されますようご案内いたします。

記

- (1) 執筆要領 情報処理学会機関誌原稿執筆案内(学会誌1991年4月号)の論文誌投稿規定によります。
- (2) 査読手続 通常の論文誌投稿論文と同一です。
- (3) 投稿締切 1992年10月31日
投稿論文には、『マルチメディア通信と分散処理』特集と朱書してください。
- (4) 査読完了予定 1993年3月末(照会も含む)
- (5) 特集号予定 1993年6月号

なお、上記のように投稿論文は一般投稿と全く同じ要領で扱われますが、査読が通常よりも迅速に行われ、かつ採録された論文は一括掲載されるという利点があります。

海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されていますが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500~2,500円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは「VISA」「Master Card」「American Express」および「Diner's Club」により円立で送金できるようにしました。なお、申込書様式は次のとおりとしますが、A4判用紙を用い必ず郵送してください (Fax は不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN
 STEC JOHO Bldg., 1-24-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku
 Tokyo 160, Japan
 Phone: 81-3-5322-3535

I wish to pay with my credit card.

Circle one: Master Card VISA American Express Diner's Club

(1) Card number _____

(2) Expiry date _____/_____

(3) Full name of holder as it appears on the card _____

(4) Amount _____ Japanese Yen

(5) Details (annual fees, journal, etc.) _____

(6) Mailing address _____

(Country) _____

Phone _____

Fax _____

Date _____

Signature _____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥ 1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to: Information Processing Society of Japan

Bank account no. 062-2049562

Shinjuku-Nishiguchi Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

第23回画像工学コンファレンス

—Japan Imaging Technology '92—

画像工学コンファレンスは1970年に第1回が開催されてから今回で23回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像工学の研究開発の発展に大いに寄与してまいりました。本年も新たな発展を期し第23回画像工学コンファレンスを開催することにいたしました。

- (1) 特別講演 「歴史的画像復元」 坂田俊文
 「衛星リモートセンシングと資源探査」 山口徹郎
 「国内における3次元画像技術の発展」 濱崎襄二

(2) 招待講演

(3) 応募による一般講演(口頭発表と討論が十分にできるポスタ講演)

さらに、「92 国際画像機器展(入場無料)」を併催いたします。
 関連分野の方々の積極的なご参加を期待いたします。

期 日：1992年12月 9日(水) 10:25~18:30
 10日(木) 10:00~19:20
 11日(金) 9:20~17:30

会 場：ABC会館ホール(地下鉄三田線芝公園駅、日比谷寄り出口)
 東京都港区芝公園2-6-3 ☎03(3436)5771

参加費：加盟学会 10,000円
 学 生 5,000円 論文集代を含みます
 非 会 員 13,000円

申込・送金方法：

- (1) 申込期限 1992年11月25日(火)
 (これ以後は資料などの余裕がある場合受けます。)
- (2) 申込先 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付
 第22回画像工学コンファレンス事務局
 ☎&FAX 03(3433)2543
- (3) 銀行振込の場合 申込書に必要事項をご記入の上、お送りください(FAX可)。
 お振込みのときは、振込人名(会社名等)の前に登録番号(参加受付番号)を必ずご記入ください。
 三菱銀行・浜松町支店(018)・普通預金・0135837
 口座名「画像工学コンファレンス」
- (4) 郵便振替の場合 東京7-69769 口座名「画像工学コンファレンス」
 振替用紙の通信欄に、申込書と同じ事項をご記入ください(個人名は必ずお書きください)。
 (振替用紙を申込書として扱いますので別紙申込書は二重登録になるので送らないでください)

* 申込書または郵便振替用紙が届き次第、参加受付証をお送りします。

論文集：当日会場でお渡しいたします。欠席の方には終了後、郵送いたします。

論文集のみご希望の方には、10,000円で終了後、郵送いたします。

主 催：第23回画像工学コンファレンス実行委員会(担当 電気学会・電子デバイス技術委員会・光量子デバイス技術委員会)

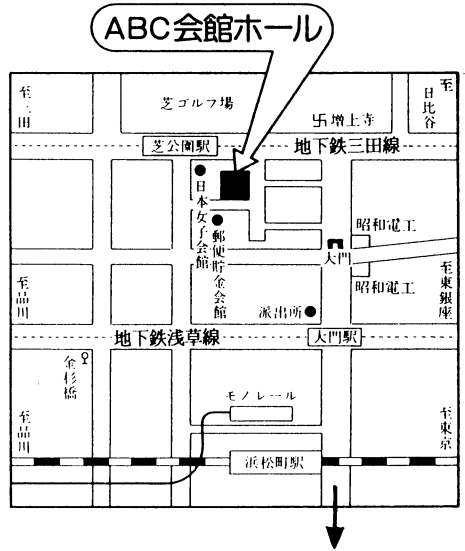
加盟学会・委員会：応用物理学会日本光学会、テレビジョン学会・情報ディスプレイ研究委員会・視覚技術研究委員会・画像通信システム研究委員会・画像処理コンピュータビジョン研究委員会・画像応用研究委員会、電気学会・電子デバイス技術委員会・光量子デバイス技術委員会、電子情報通信学会・画像工学研究専門委員会・パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部、三次元映像のフォーラム。

「92国際画像機器展(入場無料)」

期 日 1992年12月9日~11日 会 場 東京産業貿易会館(港区・竹芝)

主 催 日本画像・計測機器協議会(☎03-3367-0571)

* コンファレンス会場と展示会場との間は、無料シャトルバスが走ります。



「92国際画像機器展
 会 場
 東京産業貿易会館

第23回画像工学コンファレンス プログラム

第1日 12月9日(水) 10:25~18:30

開会の辞(10:25~10:30)

藤井陽一実行委員長(電気学会、東大)

1. 画像処理(1)(10:30~12:50)

座長 越智 宏(日大)

- 1-1 歴史的画像復元(仮題)(特別講演)
- 1-2 フラクタルブロック符号化を用いた画像圧縮の高速化

坂田俊文(東海大)
○源野広和・河田 宏(三洋電機)

座長 村木 茂(電総研)

- 1-3 遺伝的アルゴリズムを用いた濃淡画像の2値化法

○小林直樹・斎藤英雄(慶応大)

- 1-4 P S Fのパラメータ分布を推定するシフト・バリエーションなボケ画像の復元法

○斎藤英雄・橋本正一・中島真人(慶応大)

- 1-5 エッジシャープネスを用いた最適鮮鋭化

○井上 晃・田島讓二(日本電気)

- 1-6 反復減衰最小二乗法による画像復元と最適な正則化パラメータの推定

坂部朋洋・○前田純治・久保 洋(室蘭工大)

2. 画像処理(2)(13:20~14:20)

座長 笠原久嗣(N T T)

- 2-1 ニューラルネットによる画像情報処理(招待講演)

曾根原登(N T T)

- 2-2 曖昧な記憶からの高速画像検索システム

○近藤 隆・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫(東工大)

座長 迫田真也・田井修市・久間和生(三菱電機)

3. 画像処理(3)(14:30~15:50)

座長 下田陽久(東海大)

- 3-1 衛星リモートセンシングと資源探査(特別講演)

山口徹郎(資源観測解析センタ)

- 3-2 計算幾何学と画像処理(招待講演)

杉原厚吉(東大)

4. 画像処理(4)(16:00~17:20)

座長 金子 博(N T T)

- 4-1 情報技術としての画像処理の国際標準化

藤村是明(電総研)

- 4-2 エネルギー最少化原理に基づく領域分割の一手法

○梵村雅彦・塩山忠義(京都市織大)

- 4-3 Template Based Edge Linking with Minimal Distortion

Fredrik L. Miller・Junji Maeda・Hiroshi Kubo

(室蘭工大)

- 4-4 門検出ough 変換を用いた黒目検出による眼球運動測定の検討

○小樽 元・片原俊司・青木正喜(成蹊大)

5. 画像処理(5)(17:30~18:30)

座長 澤田順夫(東芝)

- 5-1 画像処理用ラベリングアクセラレータ L S I の開発

○林 伸夫・新田谷洋・河野政裕・加藤雅弘(住友金属)

- 5-2 2次元ロックインアンブによる液体誘電体中の電界強度分布測定

○田中英樹・野中啓弘・川崎俊之・高田達雄(武蔵工大)

- 5-3 液体注入型焦点可変レンズを用いた自動画像取り込みシステム

前野 恭(通総研)
安藤毅史・○森田慎三(名大)

第2日 12月10日(木) 10:00~19:20

6. 医用画像(1)(10:00~11:20)

座長 本田捷夫(東工大)

- 6-1 コヒーレント検出光 C T (招待講演)

稲場文男(東北工大)

- 6-2 特異値分解を伴う線形予測法の磁気共鳴画像におけるトランケーション・アーティファクト低減への適用

○鶴池充宏・南谷晴之(慶応大)

- 6-3 3次元MRI画像の解析と認識

○藤 栄華・徳田尚之(宇都宮大)

7. 医用画像(2)(11:30~12:50)

座長 竹内 寛(コニカ)

- 7-1 フラクタル次元を導入した生体組織画像の評価

的崎 健・○小柳晋一・池口 徹(東理大)

- 7-2 メンバーシップ関数を用いたクラスタリング手法と染色体画像解析への応用

○角田みずす・古田伸一・岡部信夫・山口秀樹(ニコン)

- 7-3 内視鏡時系列画像からの3次元形状推定

山本幹男・早田 勇・古川 章(放医研)

- 7-4 内視鏡画像の色再現特性と診断への応用

○小田紀彦・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫(東工大)、
野波徹緒(オリンパス光学)

- 7-5 内視鏡画像の色再現特性と診断への応用

○原 健児・羽石秀昭・矢口博久・三宅洋一(千葉大)

8. ポスタセッション(1)(13:00~14:30)(7階会議室)

- 8-1 冠状動脈血管内視画像のリアルタイム画像処理-拍動によるブレの防止-

○山縣俊彦・溝口多聞・川村真一・内堀雅巳

- 8-2 細径イメージガイドを用いた内視画像のリアルタイム画像処理-網目模様の除去-

・竹内 清(フクダ電子)

- 8-3 膝疾患支援診断のための腫瘍影の検出フィルタ

○溝口多聞・山縣俊彦・川村真一・内堀雅巳

- 8-4 散乱スペクトルを考慮した S P E C T における散乱線補正法の提案

・竹内 清(フクダ電子)

- 8-5 医用画像の画質改善

○蔡 篤儀・坂本武彦(岐阜高専)

- 8-6 信号源分散行列を用いた脳磁場からの磁場源電流分布の再構成

市川秀男・金森勇雄(大垣市民病院) 小島克之(浜松大)

- 8-7 Simulated Annealing を用いた放射線治療計画

内田 勝(静岡理工大)

- 8-8 フィルタ・シミュレータによる画像フィルタの設計支援

○中後晃博・尾川浩一(法政大)

- 8-9 デジタル信号処理を用いた光学系の性能向上

板垣秀信(三菱電機)

- 8-10 複素写像関数を用いた2次元形状の自由変形について

関原謙介(日立製作所)、B. Scholz(Siemens M. E.)

- 8-11 一般化スケリング行列を用いたフラクタル性を有するテクスチャ画像の特徴抽出

○貝吹太志・池本浩幸・尾川浩一(法政大)

- 8-12 複素数型三次元画像処理プログラムのその応用

○浅野 晃・横関俊介(丸工大)

- 8-13 L O T を用いた地中レーダ画像のマイグレーション処理

○中山美徳・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫(東工大)

- 8-14 差動型ヘテロダインレーザ顕微鏡

小宮康宏(オリンパス光学)

馬場哲治(高度映像技研)

○金田克己・中川匡弘(長岡技科大)

○森本義治・森本吉春(阪大)

○許 光秀・白、成宇・川中 彰(上智大)

高木幹雄(東大)

○尾崎政男・藤井陽一(東大)

会 告

- 8-15 Hi-Vision 立体画像鑑賞時の多人数注視点分析
 8-16 陰影知覚メカニズムにおける輝度加法則の検討
 8-17 カラー動画像を用いた実時間瞬目検出法
 8-18 景観が与える心理的感覚の客観的評価のための画像処理
9. 医用画像(3) (13:20~14:40)
 9-1 計算機シミュレーションによる脳磁逆問題の特性解析
 9-2 脳磁逆問題における連続電流分布の再構成
 9-3 離散-離散モデルを用いたCT画像再構成手法の問題点解析
 9-4 Use of Transputers for the Fast Determination of Shapes
10. 医用画像(4) (14:50~16:10)
 10-1 遠隔画像診断システムの諸検討 (招待講演)
 10-2 合成識別関数を用いたX線フィルムのID認識
 10-3 Digital Angiography 動画像における心臓血管の強調
- 優秀ポスター表彰(16:10~16:20)
 11. ヒューマンインタフェース(16:30~18:10)
 11-1 CGと環境シミュレーション (招待講演)
 11-2 自動車用ヘッドアップディスプレイとヒューマンファクタ (招待講演)
 11-3 空間インタフェース装置による仮想物体のpick-and-place作業
12. カラー画像(18:20~19:20)
 12-1 『プリズム』補間法を用いたカラー画像のRGB-LAB変換
 12-2 多面体スライスを用いたカラー画像の領域抽出法
 12-3 $L^* a^* b^*$ 空間における画像ノイズの知覚特性
- 魚森謙也・山田光穂・本郷仁志 (ATR)
 ○須長正治・塩入 諭・久保走一 (千葉大)
 ○田辺喜一・杉山 誠 (福山職訓短大)
 ○伊藤 明・深水義之・吉田登美男・野田健一 (拓殖大)
 座長 山本幹男 (放医研)
 ○亀井之秀・羽石秀昭・矢口博久・三宅洋一 (千葉大)
 ○小尾高史・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫 (東工大)
 関原謙介・小原有希子 (日立製作所)
 ○三村昌弘・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫 (東工大)
 Corresponding to Blood Vessels Via CCD-IR Images
 ○Andrea Kutics・Akihiko Nakagawa・Munehiro Date (理研)
 座長 野原功全 (放医研)
 滝沢正臣 (信州大・医)
 ○吉本賢祐・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫 (東工大)
 山中康司・松井美穂 (コニカ)
 小西 稔・倉西 誠 (富山医薬大)
 ○大石 悟・山口雅浩・大山永昭・本田捷夫 (東工大)

第3日 12月11日 (金) 9:20~17:30

13. 3次元表示 (9:20~10:40)
 13-1 国内における3次元画像技術の発展 (特別講演)
 13-2 断層面多重記録ホログラムの研究
 13-3 複数解像度の距離画像を用いた三角形パッチによる物体表面の再構成
14. 入出力デバイス(10:50~12:50)
 14-1 最近の天体画像技術と8m望遠鏡計画 (招待講演)
 14-2 マルチメディア情報処理技術と通信への応用 (招待講演)
 14-3 カラー/高品位記録デバイスの動向 (招待講演)
15. ポスターセッション(2) (13:00~14:30) (7階会議室)
 15-1 微小レンズアレイとニューラルネットワークを用いた視覚認識システムの研究
 15-2 回析パターンを用いた競合学習による3次元形状識別
 15-3 対話型3次元物体認識システム
 15-4 パターン間の非共通部分要素による文字認識システムの研究
 15-5 撮像系の像形成シミュレーション
 15-6 並列光演算システム構成用反射型ブロック光学系
 15-7 ホログラフィック・3-Dプリンタの高密度記録
 15-8 形状記憶樹脂を用いた書換え型有機光メモリ薄膜
 15-9 コンパクトなホログラム再生法 その像特性とカラー化
 15-10 D/Rマッピング法による2次元画像の3次元加工
 15-11 COLOR CONICAL HOLOGRAPHIC STEREOGRAM
 15-12 市販のホログラフィカメラと液晶素子を利用したホログラフITVの基礎実験
 15-13 LD励起固体レーザーの発振モード揺動が及ぼすホログラム再生像への影響
 15-14 パーソナル画像データベースシステム
 15-15 レンズビームガイドによる正形立体像の伝送と裏焼き法双眼立体表示
 15-16 変換符号化によるカラー静止画像圧縮のためのブロック化・量子化テーブルと平均2乗誤差への影響
 15-17 3次元線形予測を用いたデジタルカラー静止画像の無歪圧縮
 15-18 液晶を用いた計算機合成ホログラムによる動画像表示
- 座長 畑田豊彦 (東工芸大)
 濱崎襄二 (東亜大学)
 ○大杉幸久・豊田周平 (日本ガイシ)
 鈴木正根 (名古屋造形芸大)
 岡田勝行・辻内順平 (千葉大)
 ○北村喜文・木村岳男・奥高正敏・田村秀行 (キヤノン)
 座長 武内良三 (日立)
 家 正則 (国立天文台)
 西村 孝 (NITT)
 座長 川本見生 (コピア)
 面谷 信 (NITT)
 ○山口 茂・亀丸俊一 (茨城大)
 竹崎重郎・伊藤益敏 (湘南工大)
 鎌田 洋・萩 英利・柳下秀樹 (富上通研)
 ○中澤真康・山口 茂・亀丸俊一 (茨城大)
 吉永恵美・関口 正 (東芝)
 宮崎大介・谷田 純・一岡芳樹 (阪大)
 遠藤秀明・山口雅浩・本田捷夫・大山永昭 (東工大)
 北村孝司・高橋健史・安達重光 (千葉大)
 久保田敏弘・大久保尚彦・村上晋三 (京都工織大)
 泰間健司 (三洋電機)
 笹間 宏・菊池 誠・興村吉美 (高度映像技研)
 Luis Manuel Murillo-Mora・Katsuyuki Okada・Jumpei Tsujiuchi (千葉大)
 勝間ひでとし (多摩美大) 佐藤甲突 (湘南工大)
 小西泰司・山口孝史・尾松孝茂・長谷川朗・小倉磐夫 (千葉大)
 田中幹大・根本啓次 (日本電気)
 藤井陽一・近藤由紀子 (東大)
 竹内 誠・飯塚昌之・奥沢二郎・河合雅仁 (東工芸大)
 黒木修造・野村孝徳・富田昌宏・平野浩太郎 (神戸大)
 佐藤甲突・戸塚真隆・木内健次 (湘南工大)

16. コンピュータビジョン・認識理解(1) (13:20~15:00) 座長 麻田治男 (東芝)
 16-1 連続展開画像による車輪踏面検査 宮本岳史・太田 勝・鶴飼正人・笹間 宏 (鉄道総研)
 16-2 列車前方認識のための線路消失点抽出 鶴飼正人 (鉄道総研)
 16-3 連続走査方式による鉄道の長大設備画像 笹間 宏 (鉄道総研)
 16-4 ファイバークレイティング視覚センサを用いた人の顔の自動識別システム
 ○寺田賢治・竹野内紋子・中島真人 (慶応大)
 山口順一 (総合警備保障)
 Mohamed Fakir・Chuichi Sodeyama (長岡技科大)
- 16-5 Machine Recognition of Arabic Printed Scripts
 17. コンピュータビジョン・認識理解(2) (15:10~16:10) 座長 佐藤隆夫 (NTT)
 17-1 網膜情報処理 (招待講演) 重松征史 (電総研)
 17-2 複数空間チャンネルの統合による運動検出モデル 田川憲男・守屋 正 (都立大)
- 優秀ポスタ表彰(16:10~16:20)
 17-3 単眼画像による3次元形状推定 座長 尺長 健 (NTT)
 17-4 小型レンジファインダ「Cubicscope」による全周形状測定 ○山内浩一・塩山忠義 (京都市織大)
 大槻正樹・服部数幸・佐藤幸男 (名工大)
 17-5 教示計測により導出された識別木による3次元形状認識システム
 若原剛人・瀧田竜一郎・小林敬子・○佐藤美和 (新潟鉄工)
 第24回画像工学コンファレンス実行委員長
- 閉会の辞(17:20~17:30)

会
告

講演時間 (質疑応答を含む)	
一般講演	20分
特別・招待講演	40分
ポスタセッション	90分 / 7階会議室にて並行して発表

第23回画像工学コンファレンス -Japan Imaging Technology '92- 参加申込書

氏名 (複数記入可)				
連絡先 電話/FAX				
所在地 〒				
機関・所属名				
資格	<table border="1"> <tr> <td>会員</td> <td>非会員</td> <td>学生</td> </tr> </table>	会員	非会員	学生
会員	非会員	学生		
送金額 (予定) ¥				
所属学会 (所属するすべての学会に○印をつけてください) 応物光学 テレビ 電気 電子情報通信 ME 画像電子 写真 電子写真 写真測量 情報処理 印刷 レーザー 医療情報 計測制御 非破壊検査 JAMIT SPIE 三次元映像				

第9回色彩工学コンファレンス プログラム

第1日 10月29日(木) 9:25~18:10

開会の辞(9:25~9:30)

一岡芳樹実行委員長(日本光学会、阪大)

1. 測色(9:30~11:30)

座長

小松原仁(日本色研)

1-1 色に関する日本工業規格と関連外国規格(招待講演)

馬場護郎(村上色研)

1-2 メタリック塗装の測色方法

服部 寛・中島毅彦・伊藤信広(トヨタ自動車)

北 信之・高田直弥・〇杉山正実(ミノルタカメラ)

座長

長谷川敬(聖心女子大)

1-3 ホワイトバランス調整のためのカラーチャート識別方式

〇藤岡利和・山田 伸(松下技研) 高柳俊和(松下電器)

1-4 CRT上の灰色の明るさスケール作成

〇河合雅仁・櫻原葉子・牧田 丞・川上元郎(東工芸大)

1-5 Helmholtz-Kohlrausch効果の新しい表示法の提案と従来の表示法の問題点

〇納谷嘉信(大阪電通大) 側垣博明(電総研) 橋本健次郎(松下電器)

2. 色彩表示(11:40~12:40)

座長 犬井正男(コニカ)

2-1 C GデザインシミュレータとCCMの結合による新しい企画・調色・生産システム(招待講演)

久保田順一(新潟工技)

2-2 対話的色彩入出力システム

〇富永昌治(大阪電通大)

3. 色再現(14:00~14:40)

座長 矢口博久(千葉大)

3-1 カラーファクシミリ標準化動向-色空間の選択-(招待講演)

池上博章(富士ゼロックス)

4. 佐柳和男メモリアル(14:50~18:10)

座長 三宅洋一(千葉大)

4-1 Neugebauer方程式を用いた色再現理論(招待講演)

田宗道弘(写研)

4-2 種々の混色モデルにおける任意数色素の混色による色再現域の高速計算アルゴリズム

小林光夫・〇鈴木卓治(電通大) 井口 治(電通国際情報サービス)

4-3 $L^* a^* b^*$ を用いたフレキシブルUCR ~第1報~ 文字/中間調画像に両用可能な新規UCRの検討

〇小勝 斉・喜多伸児(富士ゼロックス)

4-4 カラーキャナの色校正

〇吉田育弘・伊藤 玄・古川浩之・高倉正樹・山根康邦・賀好宣捷(シャープ)

4-5 イメージキャナによる分光反射率の測定

〇辻 紘良・渡部桂子・鈴木和彦(豊田中研)

4-6 色弁別のメカニズム

大島哲也・高木 淳(トヨタ自動車)

増田 功・羽石秀昭・〇矢口博久・三宅洋一(千葉大)

座長 一岡芳樹(阪大)

4-7 佐柳先生と画像工学(招待講演)

三宅洋一(千葉大)

4-8 佐柳博士の思い出-光学設計技術の立場から-(招待講演) 松居吉哉(キヤノン)

懇親会(18:20~20:00)

第2日 10月30日(金) 9:30~18:15

5. 色覚(9:20~11:00)

座長 中野靖久(東工大)

5-1 単色光および複合光の色見え-表面色モードにおける見えの色の測定-(招待講演)

山下由己男(九芸工大)

5-2 多様な色の周辺視野によって生じる色対比

〇福地宏成・山下由己男(九芸工大)

5-3 明るさマッチング・データの近似に関する試み

佐藤雅子・〇関口英明・西田 健(千葉大)

5-4 隣接フリッカー色光における点滅モード弁別の時間周波数依存性

山下由己男(九芸工大)

6. 照明(1)(11:10~12:30)

座長 橋本健次郎(松下電器)

6-1 演出照明と色(招待講演)

明道 成(三菱電機)

6-2 化粧肌色の見えにおよぼす照明の影響 ~評価構造の解析~

〇佐藤慶子・小松原仁(色研) 棟方明博・佐藤千穂(資生堂)

鈴木恒男(慶応大) 小堀 正・淵田隆義(東芝ライテック)

6-3 化粧肌色の見えにおよぼす照明の影響 ~素肌、化粧肌の見え~

〇佐藤千穂・棟方明博(資生堂) 佐藤慶子・小松原仁(色研)、

鈴木恒男(慶応大) 本田いつ子・淵田隆義(東芝ライテック)

7. 照明(2)(13:50~14:50)

座長 淵田隆義(東芝ライテック)

7-1 道路・交通照明と色彩(招待講演)

神作 博(中京大学)

7-2 目立ち感情に基づく光源の演色性評価方法

〇橋本健次郎・矢野 正(松下電器) 納谷嘉信(大阪電通大)

8. 配色(15:00~16:40)

座長 坂田勝亮(日本色研)

8-1 色彩と景観-横連の考察-(招待講演)

浜口隆一(サイン448)

8-2 好ましい肌色を規定するイメージの構造

〇鈴木恒男・小谷津孝明(慶応大) 松田佳代子(東京銀行)

棟方明博・佐藤千穂(資生堂)

8-3 色彩の分布と占有率に関する心理評価

〇佐川 賢(製科研) 清水 豊(筑波技術短大)

8-4 色調(TONE)構成における知覚差異の研究

〇山岸政雄(金沢美工大)

9. デバイス・色材(16:50~18:10)

座長 鶴飼一彦(北里大)

9-1 液晶ディスプレイ(招待講演)

内田龍男(東北大)

9-2 カラー表示デバイスの特性(2)

〇奥沢二郎・河合雅仁・飯塚昌之(東工芸大)

9-3 新規色素を用いたD²T²用材料の開発

〇御子柴尚・田中 貢・白井英夫・久保寺征一(富士フィルム)

閉会の辞(18:10~18:15)

第10回色彩工学コンファレンス実行委員長

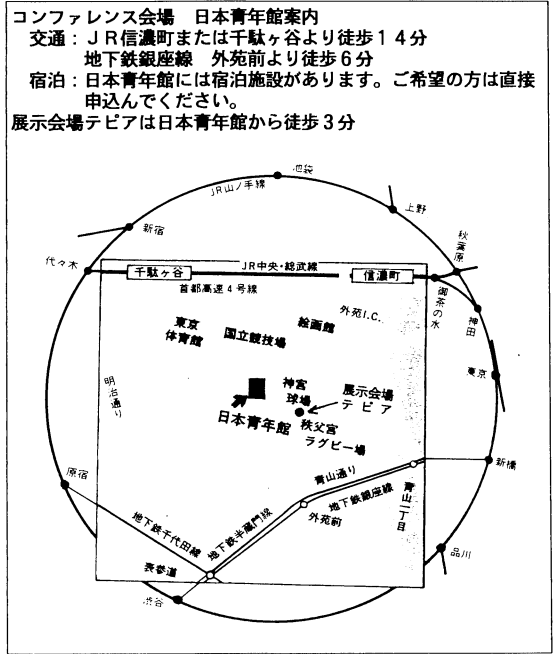
第9回色彩工学コンファレンス

(第38回光学四学会連合講演会)

主催：光学四学会（応用物理学会日本光学会、照明学会、日本色彩学会、日本写真学会）
 協賛：画像電子学会、情報処理学会、テレビジョン学会、電気学会、電子写真学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、日本心理学会、日本デザイン学会、日本M E学会、レーザー学会、色材協会、I S T 東京支部、人工知能学会

第9回色彩工学コンファレンスを下記のように開催いたします。
 また展示会『カラーJAPAN'92』（10月28日～30日、会場テビア、入場無料）とチュートリアル講演（10月28日別途有料）を併催いたします。関連分野の方々の積極的参加を期待します。

色彩工学コンファレンス	
日時：1992年10月29日（木） 9:25～18:10	
懇親会 29日（木） 18:20～20:00	
30日（金） 9:30～18:15	
会場：日本青年館・中ホール（東京・神宮外苑） 東京都新宿区霞岳町15 ☎(03)3401-0101	
参加費：コンファレンス（論文集代を含む）	
共催協賛会員	10,000円
非会員	13,000円
学生	4,000円
懇親会：一人	5,000円
チュートリアル講演	
日時：10月28日（水） 9:40～16:50	
会場：日本青年館・中ホール	
申込締切：10月21日（水）	
参加費：チュートリアル（テキスト代を含む）	
コンファレンス参加者	16,000円
その他一般	20,000円
学生	6,000円
プログラム	
9:40～11:10 (1) 色覚の基礎	中野 靖久（東工大）
11:20～12:50 (2) 演色性の基礎	淵田 隆義（東芝ライテック）
13:40～15:10 (3) 測色の基礎	山下由己男（九工芸大）
15:20～16:50 (4) 色彩学の応用	鈴木 恒夫（慶応大）



会
告

申込・送金方法：

- 銀行振込の場合：申込書に必要事項をご記入の上、下記の申込先までお送りください（FAX可）。
 振込先は三菱銀行・浜松町支店（018）・普通預金・0135840 口座名「光学四学会幹事会」
 - 郵便振替の場合：申込は、振替用紙の通信欄に申込書と同じ事項をお書きください（個人名も）。
 振替は、東京8-69794 口座名「光学四学会幹事会」
 - 申込書あるいは振替用紙が事務局に届き次第、参加受付証をお送りします。
 - 申込先：〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル連企画気付 「色彩工学コンファレンス事務局」 ☎&FAX03(3433)2543
- 論文集：当日会場でお渡します（欠席者にはコンファレンス終了後郵送）。論文集だけは10,000円で頒布（終了後郵送）。

第9回色彩工学コンファレンス申込書

氏名 (複数記入可)	所属学会
連絡先 〒 所在地	参加 <input type="checkbox"/> コンファレンス <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> 懇親会
機関名	資格 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生
所属	送金額 (予定)



CALL FOR PAPERS


7th ACM International Conference on Supercomputing
 Tokyo, Japan, July 19-23, 1993

Sponsored by
Association for Computing Machinery/SIGARCH
July 19-23, 1993
International Conference Center,
Waseda University, Tokyo, Japan

General Chair:
 Yoichi Muraoka
 Waseda Univ.

Program Chair:
 Hidehiko Tanaka
 U. of Tokyo

Region Chairs:
 J.J. Dongarra, *U. of Tennessee*
 R. Perrott, *Queen's U.*
 T. Yuba, *Electrotechnical Lab.*

Program Committee:
 F. Allen, *IBM*
 D. Bailey, *NASA Ames Res. Center*
 R. Brent, *Australian Nat. U.*
 N. Carriero, *Yale U.*
 E. Davidson, *U. of Michigan*
 D. Degroot, *Texas Instruments*
 J. C. M. Delgado, *INESC*
 J. Gurd, *U. of Manchester*
 H. Hayashi, *Fujitsu Lab. Ltd.*
 F. Hossfeld, *Res. Center Juelich (KFA)*
 W. Jaiby, *IRISA*
 Y. Kanada, *U. of Tokyo*
 C. Koelbel, *Rice U.*
 J. Nang, *KAIST & Fujitsu Lab. Ltd.*
 T. Nakata, *NEC Corp.*
 C. M. Pancake, *Oregon State U.*
 D. Reed, *U. of Illinois*
 R. S. Schrieber, *NASA Ames Res. Center*
 M. Shimasaki, *Kyushu U.*
 H. J. Sips, *Delft U. of Tech.*
 M. Sugie, *Hitachi, Ltd.*
 Y. M. Teo, *Nat. U. of Singapore*
 C.A. Thole, *GMD*
 S. Tomita, *Kyoto U.*
 M. Valero, *U. Politecnica de Catalunya*
 C. Wadsworth, *Rutherford Appleton Lab.*
 D. Walker, *Oak Ridge Nat. Lab.*
 H. A. G. Wijshof, *Utrecht U.*
 A. Yonezawa, *U. of Tokyo*
 S. A. Zenios, *U. of Pennsylvania*
 X. Zhou, *Beijing Inf. Tech. Inst.*

Finance Chair:
 Mitsuo Ishii, *Fujitsu Lab. Ltd.*

Publicity Chair:
 Nobuhiko Koike, *NEC Corp.*

Local Arrangements Chair:
 Yoshiaki Fukazawa, *Waseda Univ.*

The *7th ACM International Conference on Supercomputing* is a forum for engineers and scientists through the world to exchange ideas and research results related to high-performance supercomputing systems. We are soliciting papers on significant new research results and experience in the development and use of supercomputing systems.

Paper Submissions

Contributions should emphasize the novel aspects of the work being reported and should discuss their implications for future supercomputing development. Topics of interest include, but are not limited to,

- *Parallel and high-performance computer architectures,
- *Parallelizing compilers and programming environments,
- *Operating systems and performance evaluation,
- *Large-scale applications and algorithms,
- *New experimental and commercial systems.

Authors should submit five copies of the full manuscript (4,000 words to 6,000 words) in English, to the appropriate regional chair as follows:

North & South America	Europe & Africa	Japan & Far East
Jack J. Dongarra Computer Science Dept. University of Tennessee Knoxville, TN 37996-1301, USA <i>dongarra@cs.utk.edu</i>	Ron Perrott Dept. of Computer Sc. Queen's University, Belfast BT7 1NN, Northern Ireland, UK <i>R.Perrott@qub.ac.uk</i>	Toshitsugu Yuba Electrotechnical Lab. 1-1-4 Umezono, Tsukuba Ibaraki 305, Japan <i>yuba@etl.go.jp</i>

Deadline for Submissions:

Manuscript should be submitted no later than

December 10, 1992

Authors will be notified about the outcome of the paper selection by

March 10, 1993

Final camera-ready versions of accepted submissions will be due by

April 10, 1993

The conference proceedings will be published by ACM. For further details, please contact:

Mitsuhisa Sato
 Secretary of ICS'93 Program Committee
 Electrotechnical Laboratory
 1-1-4 Umezono, Tsukuba
 Ibaraki 305, Japan
msato@etl.go.jp

The First Pacific Conference on Computer Graphics and Applications

Pacific Graphics'93

Seoul, Korea, August 30 - September 2, 1993

Organized by KISS(Korean Information Science Society) and CGS(Computer Graphics Society)

In Cooperation with (tentative): Korean Institute of Computer Graphics, ACM SIGGRAPH, IEEE Computer Society Technical Committee on Computer Graphics, Information Processing Society of Japan

Pacific Graphics is an international conference on computer graphics and applications. The conference brings all computer graphics people to discuss and exchange their researches for promoting computer graphics in the East in cooperation with international professional societies.

CALL FOR PAPERS

Papers presenting original research in computer graphics are being sought. Suggested topics include (but are not limited to):

- *Computer Animation*
- *CAD/CAM/CAE*
- *Computational Geometry*
- *Geometric Modeling*
- *Rendering Techniques*
- *Image Synthesis*
- *Multimedia*
- *Graphics Languages*
- *Visual Programming*
- *Scientific Visualization*
- *Volume Visualization*
- *Visual Databases*
- *Human - Computer Interaction*
- *User Interface*
- *Graphics Hardware and Software*
- *Computer Graphics in Education*
- *Parallel and Distributed Graphics*
- *Computer Graphics in Architecture*

Information for Authors Original unpublished papers of up to 5,000 words in length are invited. All submitted papers will be read and carefully evaluated by the Program Committee. Proceedings of accepted papers will be available at the time of the conference. To submit a paper, send five copies of double-spaced manuscript in English. The first part of the paper should include a title, an abstract, keywords and phrases: author's name(s), title, affiliation, complete mailing address, phone number, fax number, e-mail address, and a signed statement of commitment that "if the paper is accepted, one of the authors will present the paper at the Pacific Graphics'93 conference".

Information for Exhibitors Pacific Graphics'93 invites applications for exhibitions of graphics software and hardware products.

Conference Chair H.J. Kimn (Ajou U.)

Program Co-Chairs S.Y. Shin (KAIST), T.L. Kunii (U. of Tokyo)

International Program Committee H. Chiyokura (Keio U.), T.S. Chua (National U. of Singapore), R.A. Earnshaw (U. of Leeds), J.K. Hahn (George Washington U.), I. Ihm (Purdue U.), H. Imai (U. of Tokyo), A.E. Kaufman (State U. of New York at Stony Brook), S. Kawai (U. of Tokyo), Y.L. Kergosien (U. de Paris-Sud), Y.S. Kim (U. of Illinois), M.W. Lee (KCI & U. of Tokyo), N. Max (U. of California & Lawrence Livermore National Lab.), E. Nakamae (Hiroshima Prefectural U.), Y. Suenaga (NTT), Z. Tang (Tsinghua U.), D. Thalmann (Swiss Federal Inst. of Tech.), N.M. Thalmann (U. of Geneva), T.C. Woo (U. of Michigan), G. Wyvill (U. of Otago)

Domestic Program Committee B.K. Choi (KAIST), D.H. Kim (SERI), M.S. Kim (POSTECH), K. Koh (Seoul National U.), C.M. Kyung (KAIST), H.C. Lee (Hong-Ik U.), K. Lee (Seoul National U.), S.Y. Lee (Kwang-Woon U.), W.J. Lee (Daewoo Automobile), S.J. Oh (ETRI), Y.C. Wee (Samsung Adv. Inst. of Tech.), K.Y. Won (KAIST)

Important Dates Five copies of full papers will be due **February 17, 1993**. Notice of acceptance and reviewer's comments will be given by **March 31, 1993**. Camera-ready paper will be due **May 10, 1993**.

Address Submissions and Information to either:

Sung Yong Shin
Computer Science Department
Korea Advanced Institute of Science and Technology
373 - 1, Kusung - dong, Yusung - ku, Daejeon 305 - 701, Korea
E-mail: syshin@cs.kaist.ac.kr
Tel: +82 - 42 - 869 - 3528
Fax: +82 - 42 - 869 - 3510

Myeong Won Lee
Kunii Lab., Dept. of Information Science
Faculty of Science, The University of Tokyo
7 - 3 - 1 Hongo, Bunkyo - ku, Tokyo 113 Japan
E-mail: yi@is.s.u - tokyo.ac.jp
Tel: +81 - 3 - 3816 - 1783
Fax: +81 - 3 - 3818 - 4607

情報処理学会研究報告，全国大会講演論文集，シンポジウム論文集 および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等 の著作権の取扱いについて

標記学会出版物に掲載された論文等の著作権の取扱いについてはすでにお知らせしたとおり，国内外での科学技術情報の交流の拡大に伴い，標記論文等についても転載の許諾を求める要請が増加するとともに，無断複写（コピー）等の著作権の侵害もまた増加することが考えられますので，標記論文等についても著者に不利益が生じることのないよう十分な配慮を払うとともに，著作権の侵害に対し学会が対応できるようにするため，具体的な措置として機関誌原稿執筆案内の著作権に関する規程を準用して下記の規程を設けております。

つきましては，平成2年8月以降投稿された標記論文等の著作権は原則として情報処理学会に帰属するものといたします。また，それまでに掲載された論文および投稿中でその後掲載された論文につきましても，必要な場合には本制度の趣旨にかんがみ規程を準用させていただきよう会員各位のご了承をお願いいたします。

記

情報処理学会研究報告，全国大会講演論文集，シンポジウム論文集 および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の 著作権の取扱い

1 著作権の帰属

- (1) 標記学会出版物に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議の上措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - 依頼論文等であって，その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので，著作権の本学会への移転帰属に関し当該法人等の了解が得られない場合。
 - 特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果 および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが，著者人格権は著者に帰属する。ただし，著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し，本学会はこれに異議申立て，もしくは妨げることを行わない。この場合著者は本学会に申し出を行い，また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。

- (2) 本学会は論文等の複製をおこなうことができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合，本学会は理事会において審議し，適当と認めたものについて要望に応ずることができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって，第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告の上，本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆に当っては他人の著作権の侵害，名誉毀損，その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一，執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ，第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

支部だより

関西支部 関西情報関連学会連合大会案内

日時 平成4年12月11日(金) 10:00~17:00

場所 千里ライフサイエンスセンター

565 豊中市新千里東町 1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル (Tel. 06 (873) 2000)

プログラム

10:00 }		あ い さ つ		組織委員長 手塚 慶一
10:30 }	特別講演	交 渉 中		
12:00 }		昼 食 ・ 休 憩		
13:00 }	シンポジウム(1) 情報ネットワーク化と社会システム 司会者 栗山仙之助(大阪工大) ①情報ネットワーク化と企業・社会 SIS からダウンサイジングへの経営情報論的考察 中辻 卯一(関西大) 情報化と参加ネットワーク型経営と経済 一ヒエラルヒーからヘテラルヒーへ 飯尾 要(和歌山大) ②情報ネットワーク化と経済・社会 都市の活性化と情報システムのパラダイム 吉田 寛(流通科学大) 未 定 福田 亘(神戸大)	シンポジウム(2) ワークステーションの最新情報と今後の動向 一ダウンサイジングと分散処理環境一 ①ダウンサイジングと分散処理 (人選中) ②POWER ステーション 日本アイ・ビー・エム(株) ③EWS 4800 日本電気(株) ④HP 9000 横河・ヒューレット・パッド(株) ⑤NWS 5000 ソニー(株) ⑥SPARC ステーション 10 日本サン・マイクロシステム(株)	パネルディスカッション(2) 知能システムの新しい展望 一ニューロ・ファジィの理論と応用一 司会者 馬場 則夫(大阪教育大) ①総括的な講演 福島 邦彦(阪大) ②ニューラルネットの理論について 北村 新三(神戸大) ③ニューラルネットの応用について 久間 和生(三菱電機) ④ファジィシステムの理論について 田中 英夫(大阪府立大) ⑤ファジィ理論の応用について 若見 昇(松下電器)	
15:00 }	シンポジウム(3) 経営情報システムのニューパラダイム 司会者 中易 秀敏(大阪工大) ①戦略情報システムの構造とそのシステムアプローチ 藤基 佳男(住友金属情報システム) ②統合生産管理システムの構築 一特に、生産・物流管制センターの役割とその機能について一 溝口 泰弘(日新製鋼) ③ニチイ・マイカルグループの戦略と情報システムの課題 ト部 邦彦(マイカルシステムズ)	パネルディスカッション(1) CAI 技術へのニーズとシーズ 司会者 菅井 勝雄(阪大) 〈マルチメディア〉 大槻 説乎(九州工大) 〈実際の知的 CAI〉 福原 美三(NTT) 〈シミュレーション型〉 乾 昌弘(オーガス総研) 〈CAI〉 磯本 征雄(名古屋市立大)		

定 員 300名

申込・問合せ先 情報処理学会関西支部 (Tel. 06 (346) 2543)

関西支部 セミナ「超並列処理の動向と展望」

日 時 平成4年11月26日(木)～27日(金)

(26日) 10:00～17:00 (27日) 9:30～17:00

場 所 NTT 情報文化センター (530 大阪市北区堂島 3-1-21 NTT 堂島ビル Tel. 06 (347) 7011)

プログラム (26日)

時間	テ ー マ	講 師
10:00 } 11:00	1. 「超並列処理アーキテクチャとアルゴリズム」	梅尾 博司 (大阪電通大)
11:00 } 12:00	2. 「超並列処理とコンパイラ技術」	笠原 博徳 (早大)
12:00 } 13:00	(昼 食 ・ 休 憩)	
13:00 } 14:15	3. 通産省「新情報プロジェクト」	坂井 修一 (電総研)
14:15 } 15:30	4. 文部省「超並列重点領域研究プロジェクト」	田中 英彦 (東大)
15:30 } 15:45	(休 憩)	
15:45 } 17:00	5. 筑波大学「計算物理学研究センターと超並列処理」	中澤喜三郎 (筑波大)

(27日)

9:30 } 10:15	6. 「遺伝子情報処理と超並列処理」	五條堀 孝 (国立遺伝学研)
10:15 } 11:00	7. 「流体力学と超並列処理」	福田 正大 (科技厅)
11:00 } 11:45	8. 「人工知能と超並列処理」	龍 和男 (ICOT)
11:45 } 12:45	(昼 食 ・ 休 憩)	
12:45 } 13:25	9. 「国産並列処理計算機の現状」 (1) AP-1000	石井 光雄 (富士通研)
13:25 } 14:05	(2) ADENART	廉田 浩 (松下電器)
14:05 } 14:45	(3) CYBERFLOW	三浦 宏喜 (三洋電機)

14:45 } 15:00	(休 憩)	
15:00 } 15:40	10. 「外国産並列処理計算機の現状」 (1) CM/5	山田 実 (日本シンキング・マシズ)
15:40 } 16:20	(2) PARAGON	池田 昭雄 (インテルジャパン)
16:20 } 17:00	(3) PARSYTECH	講師未定 (Parsytech Computer (株))

参加費 会員 20,600円

申込・問合せ先 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2543

関西支部 数値解析研究会

[研究会]

日時 平成4年12月4日(金) 13:30~17:00

会場 (財)関西情報センター 会議室 (大阪市北区梅田 1-3-800 大阪駅前第一ビル8階
Tel. 06 (346) 2543)

プログラム

- (1) ニューロ・ファジィと関数近似 市橋 秀友 (大阪府立大)
- (2) 反応拡散系におけるパターン選択問題 池田 勉 (龍谷大)
- (3) 非線形拡散のモンテカルロ・シミュレーション (仮題) 小川 重義 (京都市立大)
- (4) 確率微分方程式に対する数値解法とその安定性 三井 斌友 (名大), 斎藤 善弘 (聖徳学園女子短大)

懇談会 上記研究会の終了後 (12月4日 17:30 頃から), 会場付近のレストラン「キング オブ キングス」で開催します。会費: 5千円 (学生3千円)。

[若手研究会]

日時 平成4年12月5日(土)

会場 大阪工業大学記念館 (大阪市旭区中宮 5-16-29 Tel. 06 (965) 1551)

プログラム 大学院生を中心とした若手の研究会を開催します。詳しくは後日ご案内します。

[参加要領]

参加費 どちらの研究会も無料です。

宿泊 12月4日(金)の宿泊をご希望の方は大阪工業大学の宿泊施設を利用できます(有料)。

申込方法 研究会・若手研究会に参加されるだけの方は、事前の申込みは不要です。懇親会への参加、宿泊を希望される方は、①申込みの区別 (a: 懇親会のみ, b: 懇親会及び宿泊), ②氏名, ③所属, ④連絡先 (所属住所, 電話, FAX) をご記入のうえ, FAX または郵便で11月末日までに下記までお申込みください。

申込・問合せ先 535 大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学一般教育科 友枝謙二
Tel. 06 (952) 3131 (内 3841, 3800) FAX 06 (957) 2137

東海支部 「画像メディア技術の最新動向」専門講習会

期 日 平成4年12月3日(木), 4日(金)

会 場 愛知県産業貿易館西館9F 第3会議室
(名古屋市中区丸の内 3-1-6 Tel. 052 (231) 6351)

地下鉄, 桜通線, 鶴舞線「丸の内」駅下車, 徒歩10分または名城線「市役所」駅下車, 徒歩10分

演 題	12月3日(木)		
	画像メディア技術の動向	10:00~11:30	鳥脇純一郎(名大)
	人工現実感と臨場感通信	13:00~14:30	岸野 文郎(ATR)
	コンピュータビジョン	14:40~16:10	佐藤 幸男(名工大)
	12月4日(金)		
	コンピュータグラフィックス	10:00~11:30	横井 茂樹(名大)
	マルチメディア・ハイパーメディア	13:00~14:30	笠原 裕(日電)
	画像メディアステーションとビジュアルインタフェース	14:40~16:10	田村 秀行(キャノン)

定 員 100名(定員になり次第締め切ります)

参加費 主催・共催会員(正会員, 賛助会員) 12,000円

主催・共催学生会員, 共催准員 5,000円

一般(会員以外) 20,000円

テキストのみ 3,000円(送料を含む, 発送は講習会終了後)

申込方法 はがきに①氏名, ②勤務先と所属, ③住所と電話番号, ④所属学会等の名称を記入しお申込みのうえ, 下記いずれかの方法で送金してください。入金確認次第, 参加証をお送りします。

なお, テキストは当日会場でお渡しします。

(送金方法) 1. 銀行振込(申込のはがきに「銀行振込」と必ず明記してください)

銀 行 さくら銀行 名古屋支店

口座番号 (普) 5 5 8 9 0 1 7

名 義: 情報処理学会 東海支部

2. 現金書留(上記申込内容を適当な用紙に記入し, 同封してください)

申 込 先 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
情報処理学会東海支部 Tel. 052 (204) 4517 FAX 052 (204) 4521

東海支部 講演会

日 時 平成4年12月2日(水) 15:00~17:00

場 所 静岡大学工学部情1教室(浜松市城北 3-5-1)

演 題 協調探索に向けて

石田 享(NTT コミュニケーション科学研)

参加費 無料(参加資格は問いません)

問合せ先 情報処理学会東海支部 Tel. 052 (204) 4517

北陸支部 講演会

日 時 平成4年11月20日(金) 15:00~16:30

場 所 富山商船高等専門学校図書館視聴覚室(新湊市海老江練合 1-2)

演 題 脳の仕組みとニューラルネットワーク

川人 光男(ATR)

参加費 無料(参加資格は問いません)

問合せ先 情報処理学会北陸支部 堀口 進 Tel. 0761 (51) 1265

四国支部 「情報理論における最近のアルゴリズムとその応用」研究会

日 時 平成4年12月11日(金) 13:00~

12日(土)~15:30

会 場 高知県市町村職員共済会館(高知市本町 5-3-20 Tel. 0888 (23) 3211)

プログラム (予定)

代数幾何符号	三浦 晋示, 神谷 典文 (日電)
情報セキュリティ	小山 謙二 (NTT)
”	藤原 融 (阪大)
システム固定	堀内 和己 (近大)
信号処理	門田 良実 (島根大)
”	河野 隆二 (横浜国大)
データ圧縮	山本 博資 (電通大)
ひずみ許容符号化	鈴木 寿 (九工大), 有本 卓 (東大)
ウェーブレット解析	佐藤 雅昭 (ATR)
計算量的学習理論	横森 貴 (電通大)

参加費 無料

懇親会 11日 18:30より懇親会, そして懇親会後に一つのテーマを定めて講演およびディスカッションを予定しております。

宿泊 原則として参加者は同会場に宿泊していただきます。宿泊費, 懇親会費, 12日朝食および12日昼食費用等を含めて16,000円を予定しております。

申込・問合せ先

参加人数を40名前後に制限させていただきます。参加を希望される方は11月16日(月)までに会場担当幹事 森井 昌克 (愛媛大工学部情報工学科, 松山市文京町3 Tel. 0899 (24) 7111 (内 3704) FAX 0899 (23) 0672 E-mail: mmorii@dpc.ehime-u.ac.jp) へご連絡ください。

中国支部 「コンピュータネットワークの現状と将来動向」に関する専門講習会

日時 平成4年11月20日(金) 9:20~17:00

会場 中国電力(株)1号館2階大会議場 (広島市中区小町4-33)

プログラム	支部長挨拶 (9:20~9:30)	磯道 義典 (広島大)
	総論 (コンピュータネットワークの現状とインターネットワーク) (9:30~10:50)	相原 玲二 (広島大)
	LANの現状と将来 (東大情報ネットワーク UTnet を例として) (10:50~12:10)	中村 修 (東大)
	昼食・休憩 (12:10~13:10)	
	インターネットの現状と動向 (学術ネットワークから企業内ネットワークまで) (13:10~14:30)	宮地 利雄 (日本電気)
	次世代ネットワークの基盤技術 (14:30~15:50)	西園 敏弘 (NTT)
	休憩 (15:50~16:00)	
	パネル討論会 (16:00~17:00)	全講師 (司会 磯道 義典)

定員 100名 (定員に達し次第締切ります)

参加費 会員8,000円, 学生4,000円, 非会員10,000円

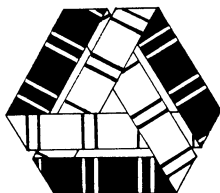
共催学協会会員は会員資格があります。

申込方法 はがきに「コンピュータネットワークの現状と将来動向に関する講習会申込み」と標記し, ①氏名, ②所属学会, ③勤務先, 連絡先, ④送金日, 送金額, を記入して下記, 申込先宛お申し込みください。参加費は銀行振込または現金書留にてご送金ください。

送金先 広島銀行西条支店 普通預金 口座番号 185030 情報処理学会中国支部

申込先 724 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第二類(電気系)内 情報処理学会中国支部 中村庚二
Tel. 0824 (22) 7111 (内 3443) FAX 0824 (22) 7195

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

IMSA '92—新ソフトウェア構造化モデル国際ワークショップ (*020)

- 1992年11月4日(水)~7日(土)
- CSK 情報教育センター(東京都多摩市諏訪)
- (株)エス・アール・シー内「新ソフトウェア構造化モデル国際ワークショップ '92」会議事務局
Tel. 03 (5472) 5545, FAX 03 (3434) 2789
- 登録料：一般 40,000 円, 国公立機関 30,000 円, 学生 20,000 円

人間生活工学国際シンポジウム (067)

- 平成4年11月5日(木)~6日(金)
- 大阪商工会議所
- (社)人間生活工学研究センター 総務部
Tel. 06 (222) 2901, FAX 06 (222) 2905

次世代産業基盤技術「新ソフトウェア構造化モデル国際シンポジウム '92」 (068)

- 1992年11月9日(月)
- 早稲田大学総合学術情報センター(東京都新宿区西早稲田)
- (株)エス・アール・シー内「次世代産業基盤技術国際シンポジウム '92」会議事務局
Tel. 03 (5472) 5545, FAX 03 (3434) 2789
- 登録料：一般 20,000 円, 国公立機関 15,000 円, 学生 10,000 円

Workshop on Topological Modeling for Visualization (069)

- 1993年2月8日(月)~21日(日)
- 東京大学山上会館
- 東京大学理学部情報科学科 國井 利泰
Tel. 03 (3816) 1783, FAX 03 (3818) 4607
E-mail: Kunii@is.s.u-tokyo.ac.jp
- 論文締切：1992年12月10日

IFIP TC 5/WG 5.10 II Working Conf. on Modeling in Computer Graphics (070)

- June 28-July 2, 1993
- Genova, ITALY
- Bianca Falcidieno (programme Chairperson)
Istituto per la Matematica Applicata-C. N. R.
Via L. B. Alberti, 4
16132 Genova (ITALY)
Email: FALCIDIENO@IMAGE.GE.CNR.IT,
Fax: +39-10-517801, Phone: +39-10-515510/517639

IGARSS '93—1993年地球科学とリモートセンシング国際シンポジウム—地球環境の解明— (071)

- 1993年8月18日(水)~21日(土)
- 工学院大学(東京都新宿区西新宿)
- アブストラクト送付先：113 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部計数工学科 IGARSS '93 プログラム委員長 藤村 貞夫 Tel. 03 (3812) 2111 (内 6900), FAX 03 (5689) 7354
- アブストラクト応募締切：1993年1月31日

Pacific Graphics '93—The 1st Pacific Conf. on Computer Graphics and Applications (072)

- August 30-September 2, 1993
- Seoul, Korea
- 論文送付先：
Myeong Won Lee
Kunii Lab., Dept. of Information Science
Faculty of Science, The University of Tokyo, 7-3-1 Hongo, Buukyo-ku, Tokyo 113 Japan
E-mail: yi@is.s.u-tokyo.ac.jp,
Tel.: +81-3-3816-1783, Fax: +81-3-3818-4607
- Full papers due: February 17, 1993

国内会議

'92 障害者の情報処理教育と就労を考える—びわ湖会議

- 1992年10月22日(木)~23日(金)
- 琵琶湖ホテル(滋賀県大津市)
- 大阪市職業リハビリテーションセンター内 びわ湖会議協議会 Tel. 06 (704) 7201, FAX 06 (704) 7274

第4回 画像入力シンポジウム

- 1992年11月10日(火)
- 工学院大学工学部(東京都新宿区)
- 静岡大学電子工学研究所 安藤 隆男
Tel. 053 (471) 1171 (内 442), FAX 053 (474) 0630
- 参加費：正会員 10,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 12,000 円

東京農工大学科学技術展 '92

- 平成4年11月12日(木)~15日(日)
- 東京農工大学工学部, 他
- 東京農工大学科学技術展 '92 運営委員会
Tel. 0423 (81) 4225 (内 552)

公開講演会(第12回)「学術情報と標準化」

1. 平成4年11月20日(金)
2. 国立国会図書館
3. 学術情報センター 管理部総務課研究協力係
Tel. 03 (3942) 6909, FAX 03 (3942) 6900
4. 参加費: 無料

第19回 人工知能セミナー「人工知能における最近の課題と動向」

1. 1992年11月25日(水)
2. 日本ユニシス大阪教育センター(大阪市北区堂島浜)
3. (社)人工知能学会
Tel. 03 (5261) 3401, FAX 03 (5261) 3402
4. 参加費: 会員 12,000円, 非会員 25,000円, 学生 4,000円

第1回 人工工学シンポジウム

1. 1992年11月26日(木)~27日(金)
2. 新宿センタービル
3. 東京大学人工工学研究センター
Tel. 03 (5802) 2908, FAX 03 (3815) 8393
4. 参加費: 5,000円

東京大学工学講座「やわらかい工学」

1. 1992年12月9日(水)
2. 東京大学工学部
3. 東京大学工学部総合試験所内(財)総合研究奨励会
笹井 和夫
Tel. 03 (3812) 2111(内 7661), FAX 03 (3815) 8393

ハイテクシンポジウム山口'92「メディアシンポジウム」
一感性を拡張する画像メディア

1. 平成4年12月11日(金)
2. 山口グランドホテル(新幹線小郡駅前)
3. 山口大学工学部 ハイテクシンポジウム山口'92 事務局
(担当: 安本)
Tel. 0836 (31) 5100(内 208), FAX 0836 (34) 0624

第7回「大学と科学」公開シンポジウム「国際化する日本語—話し言葉の科学と音声教育—」

1. 平成5年1月8日(金)~9日(土)
2. 経団連ホール(東京都千代田区大手町)
3. クラブプロ内 第7回「大学と科学」公開シンポジウム
「国際化する日本語」事務局
Tel. 03 (3238) 1689, FAX 03 (3238) 1837

第4回 計測連合シンポジウム

1. 1993年3月16日(火)~17日(水)
2. 日本学術会議講堂(東京都港区六本木)
3. 主催: 日本学術会議
問合せ先: 東京大学工学部計数工学科 山崎 弘郎
Tel. 03 (3812) 2111(Ex. 6915), FAX 03 (3816) 7805

第14回 電気・電子工学シンポジウム

1. 平成5年3月26日(金)~27日(土)
2. 日本科学技術連盟(東京都渋谷区千駄ヶ谷)
3. 日本シミュレーション学会
Tel. 03 (5379) 1236, FAX 03 (3225) 1814

第10回 10周年記念センシングフォーラム

1. 1993年4月6日(火)~7日(水)
2. 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
3. (社)計測自動制御学会 Tel. 03 (3814) 4121
4. 講演申込締切: 1992年11月17日(火)

ソフトウェア・シンポジウム '93

1. 1993年6月9日(火)~11日(木)
2. 仙台市戦災復興記念館(宮城県)
3. 主催: ソフトウェア技術者協会
305 筑波市梅園 1-1-4
電子技術総合研究所 首席研究官 二木 厚吉
Tel. 0298 (58) 5163, FAX 0298 (58) 5163
E-mail: futatsugi@etl.go.jp
4. 論文締切: 1993年1月15日

教官募集



○大学等情報関係教官募集

稚内北星学園短期大学

- 募集人員 教授, 助教授または講師1名
 応募資格 UNIX での情報教育が可能な者。
 採用予定 平成5年4月1日
 提出書類 ①履歴書, 研究業績一覧表, ただし, a. 著書(訳書も含む) および発表論文の別刷またはコピー,

b. ソフトウェア開発や情報教育に関する上記(a)以外の業績があればその概要, 情報教育に関する抱負(1500字程度)。

応募締切 平成4年10月31日
 送付先 097 稚内市若葉台 稚内北星学園短期大学
 学長 木村謙二
 問合せ先 「教員応募書類在中」と朱書き, 書留。なお照会事項等, 本学経営情報学科長 丸山不二夫まで
 Tel. 0162 (32) 7511(代) FAX 0162 (32) 7500

愛媛大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師1名
 所属講座 応用数理工学講座
 専門分野 確率論, 統計学
 応募資格 博士の学位を有し, 年齢は35歳位までが望ましい。
 着任時期 平成5年4月1日予定
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 論文別刷等, 今までの研究の内容と今後の研究計画, 推薦書

応募締切 平成 4 年 11 月 10 日
 送付先 790 松山市文京町 3
 問合せ先 愛媛大学工学部情報工学教室 定松 隆
 Tel. 0899 (24) 7111 (内 3774)
 「応募書類在中」と朱書。

金沢大学工学部電気・情報工学科

募集人員 教授 1 名
 専門分野 次のいずれか ソフトウェア (プログラム言語, OS, DB など), グラフィクス, 画像符号化・符号理論・情報セキュリティ, マルチメディア通信と分散処理など。
 応募資格 年齢 45 歳以上 (40 歳以上で助教授着任も可)。博士の学位を有すること。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷 (10 編以内)。
 応募締切 平成 4 年 11 月 15 日
 送付先 920 金沢市小立野 2-40-20
 問合せ先 金沢大学工学部電気・情報工学科教授 武部 幹, 松浦弘毅
 Tel. 0762 (61) 2101 FAX 0762 (61) 4262

筑波技術短期大学電子情報学科

募集人員 教授または助教授 1 名
 所属部門 電子情報学科電子工学専攻
 専門分野 電子工学, 通信工学, 情報工学およびその関連分野授業担当科目 (予定): 電子工学概論, コンピュータ実習等。
 応募資格 上記専門分野において十分に学生を教育・指導できると同時に, 聴覚障害者教育に熱意のあること。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 ①履歴書, 業績リスト, 主要論文またはそれに代わるもの (2 編程度) の別刷り 2 部, 推薦書。自薦の場合は本人に関する所見を述べ得る人の氏名 (2 名)。
 平成 4 年 11 月 30 日
 応募締切 つくば市天久保 4-3-15
 送付先 筑波技術短期大学庶務課人事係
 問合せ先 電子情報学科主任 堀越源一
 Tel. 0298 (58) 9386, または同学科電子工学専攻加藤雄士 Tel. 0298 (58) 9384
 FAX (共通) 0298 (58) 9394
 なお, 本学は聴覚障害者および視覚障害者のための短大です。本学科は聴覚障害者の教育を行うので, 手話等のコミュニケーション手段を, 着任後速やかに修得されることを望む。

九州共立大学情報処理センター

募集人員 教授, 助教授または講師 計 3 名
 専門分野 情報処理分野
 応募資格 年齢 65 歳以下で情報処理の分野で研究実績がある者。博士の学位を有するか, 近々博士号取得確実な者が望ましい。
 平成 5 年 4 月 1 日
 採用予定 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷
 提出書類 平成 4 年 11 月末日
 応募締切 北九州市八幡西区自由ヶ丘 1-8
 送付先 九州共立大学情報処理センター 久保田信久
 問合せ先 同上
 Tel. 093 (691) 3331 (内 493)
 FAX 093 (603) 8186
 または九州共立大学庶務課課長 瓜生政徳
 Tel. 093 (691) 3331 (内 206)

長岡技術科学大学工学部電気系

募集人員 助教授 1 名
 所属講座 情報伝送工学大講座
 専門分野 ヒューマンインタフェース, 情報処理関連分野
 応募資格 博士の学位を有し, 年齢 40 歳未満の者。
 着任時期 平成 5 年 8 月 1 日 (着任時期については相談可)。
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 業績の概要, 主要論文別刷 (各 2 部)。推薦書 (健康に関する所見を含む)。または, 本人について意見を述べ得る人 2 名の氏名, 連絡先。
 応募締切 平成 4 年 11 月 30 日必着。
 送付先 940-21 長岡市上富岡町 1603-1
 問合せ先 長岡技術科学大学工学部電気系 荻原春生
 Tel. 0258 (46) 6000 (内 5124)
 FAX 0258 (46) 6506
 Email ogiwara@voscc.nagaokaut.ac.jp

岡山理科大学工学部電子工学科

募集人員 教授または助教授 1 名
 専門分野 電子工学
 応募締切 平成 4 年 11 月末日
 問合せ先 岡山理科大学工学部電子工学科主任
 中川紀美雄
 Tel. 086 (252) 3161 (内 4556)

東京農工大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授 1 名
 所属 情報工学講座
 通信情報工学研究分野
 専門分野 通信情報工学, 通信工学, 電子回路
 応募資格 博士の学位を有する者。
 着任時期 決定後なるべく早い時期。
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書 (自薦も含む)。
 応募締切 平成 4 年 12 月 15 日
 送付先 183 小金井市中町 2-24-16
 問合せ先 東京農工大学工学部電子情報工学科 高島 貢
 Tel. 0423 (81) 4221 (内 455)

神奈川工科大学工学部情報工学科

募集人員 2 名
 A. 教授, 助教授または講師 1 名
 専門分野 計算機 OS または言語処理系等。
 応募資格 博士の学位を有する者。採用時の年齢が 35 歳以上 60 歳未満の者。
 B. 助手 1 名
 専門分野 論理設計, 計算機アーキテクチャ, 言語理論, 符号理論等。
 応募資格 修士または博士の学位を有するか, これと同等以上の能力・業績があると認められる者 (着任時 30 歳程度まで)。
 着任時期 平成 5 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リストおよび論文別刷。
 応募締切 平成 4 年 12 月 18 日
 送付先 243-02 厚木市下荻野 1030
 問合せ先 神奈川工科大学工学部情報工学科
 石井博章または後藤公雄
 Tel. 0462 (41) 1211 FAX 0462 (42) 3737
 備考 A については大学院修士課程 (計画中) を担当可能な者。

奈良工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授, 助教授または講師 1 名
 専門分野 情報工学またはその関連分野
 応募資格 (1) 教授: 年齢 55 歳以上で博士の学位を有する者。
 (2) 助教授または講師: 年齢 40 歳未満で研究業

績がある者（博士の学位取得者、または取得見込みが望ましい）。

着任時期 平成5年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績一覧表、主要論文別刷（コピー可）、これまでの研究内容と着任後の教育・研究についての抱負（様式任意）。以上の書類を書留郵送。
応募締切 平成4年12月21日
送付先 639-11 大和郡山市矢田町 22
問合せ先 奈良工業高等専門学校情報工学科主任 上田勝彦
Tel. 07435 (2) 5213 (内 454)
FAX 07435 (5) 1420

備考 本校では、平成4年4月に高専卒業を入学資格とする専攻科（2年制）が設置されました。情報工学科は、電子情報工学専攻に所属しており、着任後は専攻科学生の教育・研究も担当。

茨城大学工学部システム工学科

募集人員 助教授若干名
専門分野 計算機応用講座(知識情報処理、コンピュータ・グラフィックス、コンピュータ・ネットワーク、その他計算機応用分野)
応募資格 博士号を有し研究業績のある者で、博士課程の指導の補助ができること、年齢は35歳位が望ましい。

着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 応募する職種、履歴書、研究業績一覧、主要論文別刷
応募締切 平成4年12月31日(適任者が見つかり次第締め切ることがある)
送付先 日立市中成沢町 4-12-1
問合せ先 茨城大学工学部システム工学科 佐々木豊
Tel. 0294 (35) 6101 (内 453, または 375)
FAX 0294 (32) 1546

群馬大学工学部情報工学科

募集人員 (1) 助教授3名, (2) 助手1名。
応募資格 (1) においては学位を有し、情報工学の中心的分野で顕著な研究業績のある者、(2) においては学位を有するかそれと同等の能力があり、情報工学の中心的分野で研究業績のある者。
着任時期 平成4年度内または平成5年度内。
提出書類 履歴書、業績リスト。
応募締切 平成5年1月31日
送付先 376 桐生市天神町 1-5-1
問合せ先 群馬大学工学部情報工学科 五十嵐善英
Tel. 0277 (22) 3181 (内 817)
FAX 0277 (47) 3051

会
告

雑 報



○(財)電気通信普及財団「平成4年度研究調査助成」募集

電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査および電気通信技術の振興、普及に関する研究調査を助成します。詳細は下記へお問合せください。

申込受付 平成4年11月2日～30日
問合せ先 105 港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル5階
(財)電気通信普及財団
Tel. 03 (3580) 3411

○「平成4年度 SCAT 研究助成」募集

財団法人テレコム先端技術研究支援センターでは、先端的な電気通信技術に係わる独創的な研究活動の支援、および将来の電気通信の発展をになう若い研究者による研究の促進をねらいとして、平成4年度研究助成の公募をおこないます。

- 研究費助成 (1) 候補者の対象
21世紀の豊かな社会の構築のために、人口の高齢化問題、環境問題等種々の社会的課題に対して、それを克服していく先端的、応用的な電気通信技術分野の独創的研究をおこなっている研究者または研究グループ。
(2) 助成額および件数
1件当たり300万～1,000万円/年、5件程度

- 研究奨励金 (1) 候補者の対象
21世紀の高度情報社会において期待されている人にやさしいヒューマンコミュニケーションに対応する先端的電気通信技術分野の研究をおこなう平成5年度大学院博士課程(後期)1年次に進学する予定者で、研究科長が推薦した方。
(2) 支給額および人数
1件当たり月額12万円、10名程度
(3) 研究科長に推薦された方は応募方法により応募のこと

国際会議
助成

- (1) 候補者の対象
平成5年度中に日本で開催する先端的電気通信技術に関する国際会議を主催する学会、研究グループ等の責任者。
(2) 助成額および件数
1件当たり最大200万円、10件以内

応募方法 所定の申込書等に必要事項を記入のうえ、平成4年12月4日(金)(当日消印有効)までに当センターに必ず郵送のこと。
申込書等の入手をご希望の方は、問合せ先に、はがきまたはFAXでお申込みください。
105 港区虎ノ門 1-17-3 第12森ビル(財)テレコム先端技術研究支援センター企画部研究推進課
Tel. 03 (3597) 8184 FAX 03 (3597) 8192

問合せ先

○通信衛星による社会人技術者再教育実験参加募集

文部省放送教育開発センターでは、下記のように通信衛星による講演会を企画しました。是非多くの方々の参加をお願いいたします。

日 時 平成4年11月5日(木) 14:00~17:00

テ ー マ

- ・光エレクトロニクスが社会に及ぼす影響(東工大講堂から通信衛星にアップリンク) 末松 安晴(東工大)
- ・新時代技術者の創造的活動への期待(東北大青葉記念館から通信衛星にアップリンク) 西澤 潤一(東北大)

受 講 料 無料

システムの概要

- (1) 通信衛星(スーパーバード 14ch, JC-SAT1 21ch, JC-SAT2 13ch)によって全国へ伝送しますので, CS 受信機を有する企業や機関で受信できます(スクランブルな

し)。質問は特設番号による FAX または電話でお願いいたします。直接受信される場合は予め下記へご連絡ください。

- (2) 下記の会場へ来られますと, 双方向の質疑応答に参加できます。

文部省放送教育開発センター

北海道大学学術交流センター

東北大学青葉記念館4階大研修室

東京工業大学講堂(大学内の光ファイバケーブルによって長津田キャンパスへも伝送)

信州大学工学部講義棟(大学のマイクロ波回線によって松本, 上田, 伊那キャンパスへも伝送)

大阪大学工学部電気系建物1階会議室

九州工業大学情報工学部講義棟2201講義室

問合せ先 東京工業大学教育工学開発センター 清水康敬
Tel. 03 (3726) 1111 (内 3232)

編集室



会員の声

- 8月号の特集はエンドユーザ企業の担当管理者にとっても参考となる記事が多かった。

CASE の今後の普及等, 将来動向を見越した関連展望記事があると, 更によいであろう。

小林石根 ((株)リョーイン 名古屋営業所)